

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業

H27-エイズ-若手-001

ゲイコミュニティにおけるコホートの構築と  
HIV および梅毒罹患率の  
推計に関する研究

- 平成 28 年度 総括研究報告書 -

研究代表者

塩野徳史

名古屋市立大学

平成 29 ( 2017 ) 年 3 月

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業

H27-エイズ-若手-001

ゲイコミュニティにおけるコホートの構築と HIV および梅毒罹患率の推計に関する研究

## 研究組織および連携体制

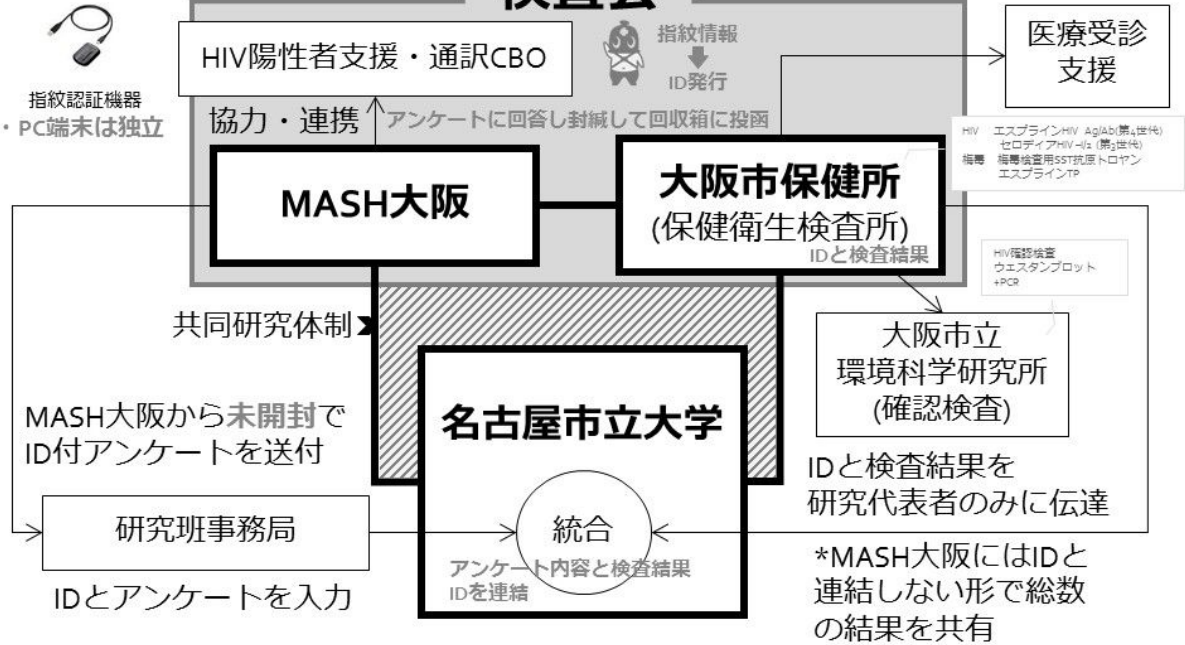
研究代表者	塩野徳史	名古屋市立大学看護学部
研究協力者	後藤大輔	公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪
	町登志雄	公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪
	宮田りりい	公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪
	大畑泰次郎	MASH 大阪
	伴仲昭彦	MASH 大阪
	鬼塚哲郎	京都産業大学文化学部/MASH 大阪
	松本健二	大阪市保健所感染症対策監
	半羽宏之	大阪市健康局医務監兼保健所感染症対策課長
	安井典子	大阪市保健所感染症対策課
	真木景子	大阪市保健所感染症対策課
	松村直樹	大阪市保健所感染症対策課
	岡本香子	保健衛生検査所

ゲイコミュニティ利用者・コミュニティセンター利用者

利用者に研究参加依頼  
⇔指紋情報を登録(指紋認証)  
⇔暗号化してID発行

無料・匿名  
検査会

- ・保健師・CBOスタッフから説明し依頼する。
- ・検査結果はID登録に関わらず伝えられる。
- ・HIV抗体検査、梅毒抗原抗体検査



\*2016年3月時点



厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業

H27-エイズ-若手-001

ゲイコミュニティにおけるコホートの構築と HIV および梅毒罹患率の推計に関する研究

## 目次

総括研究報告	3
--------	---

### 研究報告

1. コミュニティセンター利用者調査の結果	11
2. 検査会利用者の属性に関する調査結果	39

研究成果の刊行に関する一覧表・刊行物	53
--------------------	----

広報および実施に関わり作成した配布資料



## ゲイコミュニティにおけるコホートの構築と HIV および梅毒罹患率の推計に関する研究

研究代表者：塩野徳史（名古屋市立大学看護学部/MASH 大阪）

研究協力者：後藤大輔、町登志雄、宮田りりい（公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪）

大畑泰次郎、伴仲昭彦（MASH 大阪）

鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部/MASH 大阪）

松本健二（大阪市保健所感染症対策監）

半羽宏之（大阪市健康局医務監兼保健所感染症対策課長）

安井典子、真木景子、松村直樹（大阪市保健所感染症対策課）

岡本香子（保健衛生検査所）

### 研究要旨

本研究の目的は大阪のMSM(Men who have sex with men)を対象に、血液検査と連動させた前向きコホートの構築と人年法を活用してHIV感染症および梅毒の罹患率を推計し、予防啓発の評価尺度を確立することである。先行研究では日本のHIV感染動向はMSMに限局的に拡大しており、特にゲイ向け商業施設利用者は性行動が活発で、感染リスクの高い集団である。またMSMにおいて梅毒は感染が増加していることも報告されている。MSMにおけるHIV感染や梅毒感染の状況を把握することは、今後の感染対策の方針の決定や予防啓発の評価尺度として極めて有効である。MSM対象の血液検査と連動した前向きコホート形成は国内で初めてであり、将来的に今後新たに展開される予防介入試行の基盤となりうる。

調査デザインは血液検査結果と連動させた前向き追跡研究とした。研究参加者の個人特定には指紋認証の技術を活用したシステムによってIDを発行し、氏名や住所などの個人情報の取得は必要ない。研究参加者は量的質問紙調査法を活用したベースライン調査とフォローアップ調査および血液検査を継続的に参加する仕組みとした。本研究は名古屋市立大学看護学部倫理委員会の承認を得ており、検査体制の整備はゲイ・バイセクシュアル男性当事者を中心としたNGO組織・MASH大阪や大阪市や大阪府内の自治体で構成される予防週間実行委員会などの行政と協働し、利用者が本研究参加による差別や偏見を受けないように配慮し、HIV陽性判明後の支援体制を整備して実施した。

本年度は指紋登録した162人中20人の追跡ができ、MSMを対象とした血液検査と連動させた前向きコホート体制を構築できたと考える。登録者は増加したが再受検者が少ないため、本年度は罹患率の推計は困難であると考えた。最終年度には人年法を活用し梅毒およびHIV感染症の罹患率を推計する。次年度以降も検査会を継続し、データを蓄積することで意義のある研究成果が得られると考える。また大阪市のみではなく大阪府内の自治体との共同のもと試験的にコミュニティセンターでの検査会を実施でき、今後はMSMコホートを継続したまま、本研究の成果を活用し、感染リスクの高い層に向けた検査会として地域保健行政で事業化されるよう取り組む。



2015 年度 検査概要

	1回目 8月	2回目 9月	3回目 10月	4回目 1月	計	2014年度
受検者数	25人	27人	23人	52人	127人	60人
初利用者	25人	26人	22人	44人	117人	
指紋登録者数	24人 (96%)	22人 (84.6%)	18人 (81.8%)	28人 (63.6%)	92人 (78.6%)	-
結果受け取り	25人	24人	22人	51人	122人	59人
HIV陽性判明数	0人 (0.0%)	3人 (11.1%)	4人 (17.4%)	0人 (0.0%)	7人 (5.5%)	1人 (1.7%)
梅毒受検者	24人	26人	22人	52人	124人	
梅毒陽性判明数(要治療)	0人 (0.0%)	2人 (7.7%)	3人*重複 <sup>1</sup> (13.6%)	0人 (0.0%)	5人 (4.0%)	2人 (3.3%)
梅毒陽性判明数(既往含む)	2人 (8.3%)	3人 (11.5%)	3人 (13.6%)	2人 (3.8%)	10人 (8.1%)	-



2016 年度 検査概要

	1回目 7月	2回目 8月	3回目 10月	4回目 11月	5回目 1月	計
受検者数	47人	19人	26人	36人	43人	171人
初利用者	40人	15人	21人	32人	34人	142人
指紋登録者数	26人 (65.0%)	9人 (60.0%)	16人 (76.2%)	21人 (65.6%)	24人 (70.5%)	96人 (67.6%)
結果受け取り	44人	19人	26人	35人	42人	166人
HIV陽性判明数	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (3.8%)	1人 (2.8%)	0人 (0.0%)	2人 (1.2%)
梅毒受検者	47人	19人	24人	36人	43人	169人
梅毒陽性判明数(要治療)	3人 (6.4%)	0人 (0.0%)	1人 (4.2%)	4人 (11.1%)	1人 (2.3%)	9人 (5.3%)
梅毒陽性判明数(既往含む)	5人 (10.6%)	3人 (15.8%)	4人 (15.4%)	7人 (19.4%)	6人 (14.0%)	25人 (14.8%)



## A. 研究目的

本研究の目的は大阪の MSM(Men who have sex with men)を対象に、血液検査と連動させた前向きコホートの構築と人年法を活用して HIV 感染症および梅毒の罹患率を推計し、予防啓発の評価尺度を確立することである。

先行研究によれば日本の HIV 感染動向は MSM に限局的に拡大しており、特にゲイ向け商業施設利用者は性行動が活発であり、感染リスクの高い集団である。また MSM において梅毒は感染が増加していることも報告されており、MSM 対象の検査会での梅毒有病率は HIV 感染よりも高い。MSM における HIV 感染や梅毒感染の状況を把握することは、今後の感染対策の方針の決定や予防啓発の評価尺度として極めて有効である。初年度は大阪のゲイ向け商業施設を中心としたゲイコミュニティにおいて、血液検査と連動させた前向きコホートを構築することを目的とした。

## B. 研究方法

血液検査と連動させたゲイコミュニティコホートの体制構築を目的に、初年度にコホート方法の開発と体制整備を行い、血液検査を継続した。検査会の運営では大阪市保健所や大阪府予防週間実行委員会と、広報や支援団体との連携・研究推進では MASH 大阪と協働した。

### 1) コホートの構築

本研究では初年度に対象者の個人特定には生体認証の技術(スワイプ式指紋認証システム)を応用したシステムを開発し、今年度もコホート集団の構築を継続した。指紋情報はソフトウェア(OmniPass)を活用し、暗号化した上で ID を番号シールとして発行する。情報の保守性を考慮し、本研究で活用する機器端末は、インターネット接続されない仕組みとした。

### 2) 連続横断的な無記名自記式質問紙調査の実施

対象集団の属性とゲイコミュニティの中心にあるコミュニティセンターdista 血液検査会のインパクトを把握するために、約 1 ヶ月間(6 月・12 月)コミュニティセンターdista 利用者を対象に質問紙調査を実施した。

### 3) コミュニティセンターにおける血液検査会の実施

個別の ID 発行後、対象者は大阪市保健所がコミュニティセンターdista で実施する無料匿名の HIV 抗体および梅毒抗原・抗体検査を受検した。受検時に研修を受けた NGO スタッフが研究目的と概要を口頭で説明し、同意を得た。なお研究参加への同意が得られない場合でも希望があれば受検できることとした。

血液検査は HIV 抗体抗原検査と梅毒抗体検査とし、HIV 抗体検査は採血後、スクリーニング検査・確認検査を実施したのち、1 週間後に結果を通知した。梅毒抗体検査も 1 週間後に結果を通知した。結果通知は個別に対面相談できる近隣の会議室を確保し、保健所職員が既存のマニュアルに準じ実施した。受検時に番号シールを血液検査結果と質問紙調査表紙に貼り付け、血液検査結果は ID と連結させ、保健所から分析担当者のみを開示されることとした。

本年度は昨年度に引き続き大阪市保健所との協働で 3 回実施し、新たに大阪府内の自治体で構成される予防週間実行委員会とも協働し、同様の仕組みで 2 回実施した。

### 4) 分析方法

本年度は検査会ごとに HIV 陽性率が異なる背景を明らかにするために、HIV 陽性の報告の有無により受検者を 2 群し、属性等についてカイ 2 乗検定を用い単回帰分析を行った。その後、有意差のみられた項目について多変量解析を行い検討した。有意水準は 5%未満とし SPSS23 を用いた。

## (倫理面への配慮)

本研究の実施については名古屋市立大学看護学部倫理委員会の承認を得た。(ID: 15014-2 2015年6月23日))

## C. 研究結果

### 1) 無記名自記式質問紙調査による対象層の把握

検査会における対象集団の属性を把握するために、本年度も質問紙調査を継続した。

6月の調査は総利用者477人のうち再利用を除く201人に配布し156人の有効回答を得た(有効回収率77.6%)。12月の調査は総利用者582人のうち再利用を除く203人に配布し169人の有効回答を得た(有効回収率83.3%)。

6月(有効回収率77.6%)の利用者属性はゲイ84.0%、大阪府在住62.2%、平均年齢 $33.1 \pm 9.0$ 歳(最少年齢17歳、最高年齢56歳)、dista初来場者13.5%、過去6ヵ月間のゲイ向け商業施設利用割合は73.7%であった。HIV抗体検査未受検者割合は26.3%、HIV感染既往6.4%、梅毒既往6.4%であった。

12月(有効回収率83.3%)の利用者属性はゲイ88.2%、大阪府在住60.4%、平均年齢 $32.3 \pm 8.9$ 歳(最少年齢19歳、最高年齢64歳)、dista初来場者12.4%、過去6ヵ月間のゲイ向け商業施設利用割合は76.3%であった。HIV抗体検査未受検者割合は23.1%、HIV感染既往10.1%、梅毒既往7.1%であった。

### 2) コミュニティセンターにおける血液検査会の実施

検査会は曜日を変えて初年度に4回、本年度に5回実施した。結果は4項の表に示す。

初年度は累計で受検者数127人、指紋登録者割合78.6%、結果受取割合96.1%、HIV陽性者数7人(5.5%)、梅毒陽性者(要治療)数5人(4.0%)であった。本年度は累計で受検者数

171人、指紋登録者割合67.6%、結果受取割合97.1%、HIV陽性者数2人(1.2%)、梅毒陽性者(要治療)数9人(5.3%)であった。

なお、本検査会におけるHIV陽性判明者は新たに感染がわかった人であり、全て検査結果を受け取りに来られた。

検査会利用者の属性はゲイ76.0%(2015年度)76.5%(2016年度)、バイセクシュアル18.4%(2015年度)17.6%(2016年度)、居住地は大阪府71.2%(2015年度)74.1%(2016年度)、年齢層で24歳以下だったのは19.2%(2015年度)13.5%(2016年度)、dista利用者は57.6%(2015年度)57.7%(2016年度)、生涯におけるHIV抗体検査初受検者の割合は28.8%(2015年度)26.5%(2016年度)であった。また過去6ヶ月間のゲイ男性向け4施設の利用割合は83.2%(2015年度)74.7%(2016年度)であった。

2016年11月までの利用者(n=252)でHIV陽性報告の有無によって分析した結果、有意差のみられた項目は年齢、過去6ヶ月間の携帯出会い系サイト利用、過去6ヶ月間の有料ハッテン場利用であった。調整後Oddsは、過去6ヶ月間の有料ハッテン場利用が非利用に比べ1.74(95%信頼区間:1.01-3.00)、35-44歳層が24歳以下に比べ0.27(95%信頼区間:0.11-0.68)であった。

2年間(2016年12月時点)で登録者162人となり、そのうち第1期コホートの再受検者は18人(継続率19.6%)であった。

## D. 考察

検査会利用者は大阪府在住のゲイが多く、コミュニティセンターdista利用者とはほぼ同じであった。新規に判明したHIV陽性割合は保健所での受検者に比べ高い割合であり、コミュニティセンターを活用した検査会が有効であったと考えられる。検査会におけるHIV陽性報告の有無に有料ハッテン場利用が関連していたことは、商業施設利用者の中に感染リスクの高

い層が存在することを示しており、先行研究と一致する。検査はより感染リスクの高い層のニーズを満たせる体制とすることが重要であり、MSM 向けであれば、有料ハッテン場やその他の商業施設利用割合は検査会の質を評価する上で指標の一つとなることが示唆された。コホート研究では継続率は低い割合となったが、第1期コホートによって登録した92人中18人については1年間追跡できたことから、コホート体制の構築はできたと考える。

## E. 結論

本年度は指紋登録した162人中20人の追跡ができ、MSMを対象とした血液検査と連動させた前向きコホート体制を構築できたと考える。登録者は増加したが再受検者が少ないため、本年度は罹患率の推計は困難であると考えた。最終年度には人年法を活用し梅毒およびHIV感染症の罹患率を推計する。次年度以降も検査会を継続し、データを蓄積することで意義のある研究成果が得られると考える。

MSMにおいて早期発見・早期治療につながる効果的なHIV抗体検査会として、商業施設利用割合が指標の一つとなる可能性が示され学術的意義がある。またMSM集団にとって検査を身近なものにし、定期的な検査行動に寄与する可能性がある。本検査会は梅毒を含む検査会として、大阪府内自治体の参加も得られつつあり社会的な意義もある。

本年度は大阪市のみではなく大阪府内の自治体との共同のもと試験的にコミュニティセンターでの検査会を実施した。今後はMSMコホートを継続したまま、本研究の成果を活用し、感染リスクの高い層に向けた検査会として地域保健行政で事業化されるよう取り組む。

本年度は血液検査と連動させた前向きコホートの可能性を示し、検査会としては感染リスクの高い層が示唆され施策に活用できる資料が得られた。最終年度には人年法を用いてHIV

感染症および梅毒の罹患率を推計する。また国内では保健所における検査体制が整備されているが、本検査会は個別施策層の他集団でも応用可能であると考えられる。

## F. 健康危険情報

なし。

## G. 研究発表

研究代表者

塩野徳史

和文

- 1) 市川誠一, 塩野徳史, 金子典代, 本間隆之, 岩橋恒太. MSMにおけるHIV感染予防とコミュニティセンターの役割. 化学療法の領域. Vol. 32(5):1029-1038, 2016.
- 2) 金子典代, 塩野徳史, 内海眞, 山本政弘, 健山政男, 鬼塚哲郎, 伊藤俊広, 市川誠一. 成人男性のHIV検査受検, 知識, HIV関連情報入手状況, HIV陽性者の身近さの実態-2009年調査と2012年調査の比較-. 日本エイズ学会誌. 2016(受理済み).

口頭発表

国内

- 1) 塩野 徳史. エイズとコミュニティ-MASH大阪とは何か?. 第75回日本公衆衛生学会総会、シンポジウム 36「エイズをめぐる公衆衛生とLGBT当事者団体との連携」, 2016年、大阪.
- 2) 鬼塚 哲郎. MASH大阪のはじまりと10年の歩み-地域コミュニティの形成と人材の成長. 第75回日本公衆衛生学会総会、シンポジウム 36「エイズをめぐる公衆衛生とLGBT当事者団体との連携」, 2016年、大阪.

- 3) 安井 典子 .保健所とコミュニティ当事者との協働-コミュニティセンターでの HIV 抗体検査- .第 75 回日本公衆衛生学会総会、シンポジウム 36「エイズをめぐる公衆衛生と LGBT 当事者団体との連携」, 2016 年、大阪 .
- 4) 川畑 拓也,小島 洋子,森 治代,駒野 淳,岩佐 厚,亀岡 博,菅野 展史,近藤 雅彦,杉本 賢治,高田 昌彦,田端 運久,中村 幸生,古林 敬一,清田 敦彦,伏谷 加奈子,塩野 徳史,後藤 大輔,町 登志雄,柴田 敏之,木下 優 .大阪府における MSM 向け HIV/STI 検査相談事業・平成 27 年度実績報告 .第 30 回日本エイズ学会学術集会・総会、2016 年、鹿児島 .

## H . 知的所有権の出願 .

### 取得状況 ( 予定を含む )

- 1 . 特許取得状況  
なし。
- 2 . 実用新案登録  
なし。
- 3 . その他  
なし



## 1 . コミュニティセンター利用者調査の結果

研究代表者：塩野徳史（名古屋市立大学看護学部/MASH 大阪）

研究協力者：後藤大輔、町登志雄、宮田りりい(公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪)

大畑泰次郎、伴仲昭彦（MASH 大阪）

鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部/MASH 大阪）

### 研究要旨

#### 目的と方法：

コミュニティセンターdista で血液検査と連動させた HIV 抗体検査会を実施するにあたり、その対象となる集団の属性を把握することを目的として、検査会の前後約 1 ヶ月間、連続横断的な無記名自記式質問紙調査を実施した。また本検査会がゲイコミュニティに与えるインパクトを把握するために、検査と性感染症に関する規範のフォローアップデータを得ることも目的とした。

#### 結果：

1 回目（有効回収率 77.6%）の利用者属性はゲイ 84.0%、大阪府在住 62.2%、平均年齢 33.1±9.0 歳（最少年齢 17 歳、最高年齢 56 歳） dista 初来場者 13.5%、過去 6 カ月間のゲイ向け商業施設利用割合は 73.7%であった。HIV 抗体検査未受検者割合は 26.3%、HIV 感染既往 6.4%、梅毒既往 6.4%であった。

2 回目（有効回収率 83.3%）の利用者属性はゲイ 88.2%、大阪府在住 60.4%、平均年齢 32.3±8.9 歳（最少年齢 19 歳、最高年齢 64 歳） dista 初来場者 12.4%、過去 6 カ月間のゲイ向け商業施設利用割合は 76.3%であった。HIV 抗体検査未受検者割合は 23.1%、HIV 感染既往 10.1%、梅毒既往 7.1%であった。

#### 考察：

利用者属性としては大阪府在住者が多く、ゲイ向け商業施設利用者割合が高いことが特徴的であり、特に有料ハッテン場利用は 33.2%（昨年度 32.0%）と高い割合で持続している。これはゲイ向け商業施設に近いコミュニティセンターの性質として感染リスクの高い層を活動に巻き込んでいる可能性として重要である。また年齢層別に 25-34 歳で検査行動が高く特に過去 1 年間の受検割合が高いことから dista 検査会の影響が示唆された。

## A. 研究目的

大阪地域の MSM における感染動向は厚生労働省エイズ動向委員会の報告によれば、大阪を含む近畿地域の 2014 年新規 HIV 感染者数は、男性同性間性的接触によるものが 147 人で 2013 年 (161 人) に比べやや減少傾向を示している。しかし新規 AIDS 患者数は 49 人であり、2013 年(49 人)と同数である。先行研究で報告されている近畿地域の MSM 割合を用いた罹患率では、HIV 罹患率が 43.1(2012 年)、58.3(2013 年)、53.3(2014 年)であり、AIDS 罹患率は 15.6(2012 年)、17.8(2013 年)、17.8(2014 年)であり減少したとは言えない。

MSM 出生年代別にみた先行研究では AIDS 罹患率の推移は 1950 年代生まれ以外のいずれの年代でも増加傾向であった。近年では 1970 年代生まれや 1980 年代生まれでは感染拡大傾向は抑制されつつあるものの、出生年代層が若い群の方がより高く相対的に MSM 集団における感染拡大が示唆されている。

特にゲイ向け商業施設利用者はリスクの高い集団であると考えられ、過去 6 ヶ月間のコンドーム使用状況や性感染症の既往が非利用群に比べ利用群で高く、リスク状況が依然持続している可能性があることも示されている。これを背景にゲイ向け商業施設の中心にコミュニティセンターdistaは設置されているが、dista 利用者の属性を把握した研究は少ない。本研究でコミュニティセンターdistaでの HIV 抗体検査会を実施するにあたっては、その対象となる集団の属性を把握する必要がある。またコミュニティセンターでの検査会が、MSM コミュニティに与えるインパクトを把握するためにはベースラインが必要である。そのため、連続横断的な無記名自記式質問紙調査を実施した。本報告では dista 利用者の属性および、彼らの検査に対する規範を明らかにすることを目的とした。

## B. 研究方法

### 1) 調査方法

対象集団の属性とゲイコミュニティの中心にあるコミュニティセンターdistaで実施する血液検査会のインパクトを把握するために、血液検査会の前後に約 1 ヶ月間(6 月・12 月)コミュニティセンターdista利用者を対象に質問紙調査を実施した。本研究の趣旨を事前に研修を受けた NGO スタッフが書面をもとに口頭で説明し、協力同意の得られた人を対象に回答を依頼した。回答後には、回答者自身がシールで封緘を行い、回答内容をスタッフがみることなく設置された回収箱に投函する仕組みとした。回答協力者には QUO カード 500 円相当を協力謝礼として提供した。

質問項目は、昨年度先行研究をもとに作成した基本属性(性別、居住地、居住携帯、職業、セクシュアリティ)、過去 6 ヶ月間の利用施設など、検査行動、一番最近の性行動、性感染症既往歴、dista の利用経験、HIV 抗体検査や性感染症に対する規範など 20 問とした。質問項目の作成にあたっては、当事者参加型の MASH 大阪オープンミーティングで検討の機会をもち、修正を行った。HIV 抗体検査や性感染症に関する規範については、先行研究で検査行動と関連が報告されている項目を抜粋し、昨年度と同様の 20 項目とした。

1 回目の調査は平成 28 年 6 月 1 日から 6 月 30 日までの休館日を除く 25 日間、2 回目の調査は平成 28 年 12 月 1 日から 12 月 31 日までの休館日を除く 26 日間配布した。

### 2) 分析方法

得られた回答のうち、重複する回答を除き、基本属性や規範など主要な項目に無回答であった回答を除き有効回答とした。

コミュニティセンターdista利用者を把握する目的で 6 月と 12 月の回答集団を比較し、集団の経時的な特性の差異を明らかにした。

次に年齢を 24 歳以下、25 歳-34 歳、35 歳以上の 3 区分の年齢層に分類し、6 月、12 月の有効回答者について年齢層別に分析した。

質問項目は、年齢層、性別、居住形態、職業、セクシュアリティなどの基本属性と、過去 6 ヶ月間の商業施設などの利用状況、性感染症既往歴、性行動、検査行動、コミュニティセンター dista の利用状況、検査と性感染症に関する規範である。

検査と性感染症に関する規範には、先行研究から明らかになっている生涯の未受検の理由から「大阪には HIV 検査をうける機会、たとえば時間や場所などが少ないと思う」「大阪にはゲイ・バイセクシュアル男性が利用しやすい検査場所があると思う」「HIV 検査を受けるとゲイ・バイセクシュアルであることが知られると思う」「HIV 検査を受けるときに、男性とのセックスについて説明するのは面倒に感じる」「HIV 検査をして結果を知るとはいつも怖いので、できれば受けたくないと感じる」「HIV 検査を受けることで、周りの人には HIV に感染していると思われるように感じる」「HIV に感染しているかどうかは、ぎりぎりまであいまいなまかにしておきたい」の 7 項目、先行研究から受検理由として多かった「HIV 検査は予防に自信のないセックスをしたときに受けるべきだと思う」「新しい彼氏や恋人ができれば(できそうなときは)、HIV 検査を受けるべきだと思う」の 2 項目、海外の先行研究や健康行動の理論をもとに、「HIV 検査を定期的に受けることは良いことだと、周りの友達に思っている」「健康を維持するために HIV 検査は受けたほうがよいと思う」の検査に対する規範 2 項目、「性感染症に感染すれば、自分自身を振り返って悪いことしたなと感じる」「性感染症に感染すれば、セックスする相手は見つけにくくなると思う」「性感染症に感染すれば、友達と今までのようにはつきあえなくなると思う」「性感染症に感染したことが周りの友達に知られたら、嫌な印象を持たれると思う」「性感染症の検査を受け

ることで、多くの人と「ナマ」でやりまくっていると、周りの友達から思われる」の性感染症に関するスティグマ 5 項目、「HIV 感染症は治療の進歩によって昔ほど重大な病気ではなくなった」「エイズ発症をきっかけに HIV に感染していることがわかるより、検査で早めに感染していることがわかったほうが良いと思う」「HIV 感染症に感染したら、セックスする前にそのことを伝えたいと思う」「HIV を持っている人はセックスする前に、そのことを相手に話すべきだと思う」の HIV 感染症に関する知識・態度の 4 項目とした。

また「HIV 感染症に感染したら、セックスする前にそのことを伝えたいと思う」「HIV を持っている人はセックスする前に、そのことを相手に話すべきだと思う」の 2 項目から感染後のカミングアウトに対する態度として話す必要がある、自分から話したい、相手から話してほしい、話す必要はあまりないの 4 群に分類した。

データの集計および統計処理には IBM SPSS Statistics 23 を用いた。統計的有意水準は 5% 未満とした。

なお、本調査は名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得ている。(ID 番号 15014-2 2015 年 6 月 23 日)

## C. 研究結果

利用者の特性を明らかにするために、コミュニティセンター dista で質問紙調査を実施した。概要を付表 1 に示した。1 回目の調査は総利用者 477 人のうち再利用を除く 201 人に配布し 156 人の有効回答を得た(有効回収率 77.6%)。2 回目の調査は総利用者 582 人のうち再利用を除く 203 人に配布し 169 人の有効回答を得た(有効回収率 83.3%)。

1) コミュニティセンター dista 利用者の把握  
1 回目(6 月)と 2 回目(12 月)の回答集団について比較した結果を表 1-1 から表 1-5 に示した。



性別は男性割合が多く1回目90.4%、2回目94.1%であった。「その他」の中ではトランスジェンダーと回答した人が大半を占めており1回目1.9%、2回目2.4%であった。性的指向では「ゲイ」と回答する人が最も多く1回目84.0%、2回目88.2%であり、次いで「バイセクシュアル」が1回目6.4%、2回目4.7%であった。「わからない・決めたくない」と回答する人もあり、あわせると1回目3.8%、2回目4.2%であった。

居住地は大阪府が最も多く(1回目62.2%、2回目60.4%、以下同順)次いで兵庫県(16.0%、14.8%)京都府(7.7%、7.7%)奈良県(2.6%、5.9%)の順であった。性別・性的指向・居住地について有意差はみられなかった。

平均年齢は1回目が33.1±9.0歳(最少年齢17歳、最高年齢56歳)であり、2回目は32.3±8.9歳(最少年齢19歳、最高年齢64歳)であった。年齢層割合は有意差がみられ( $p=0.02$ )2回目は1回目比べて、20-29歳層で高く(32.1%、42.6%)40-49歳層では低かった(22.4%、19.5%)。

その他の属性としては一人暮らしの割合が全体で50.0%(51.3%、49.1%)親や兄弟・姉妹と同居が全体で37.5%(38.5%、36.7%)であった。職業としては常勤(正規雇用)が最も多く全体で46.3%(46.2%、46.7%)であった。いずれも有意差がみられなかった。

過去6ヵ月間の利用施設についてゲイ向け商業施設としてはゲイバー利用が全体で59.8%(59.6%、59.2%)ゲイナイト利用が全体で30.8%(30.8%、30.8%)ゲイショップ利用が全体で26.5%(30.1%、23.1%)有料のハッテン場利用が全体で33.2%(30.8%、36.1%)であった。4つの施設のうちいずれか利用した割合は全体で75.3%(73.7%、76.3%)であった。

その他、ゲイ向けアプリ利用は全体で58.5%(56.4%、61.5%)PC・携帯の出会い系サイト利用が全体で25.0%(25.7%、24.9%)野外のハッテン場利用が全体で4.3%(3.8%、4.7%)ハッテン場で有名な公共施設利用が全体で19.8%(21.2%、18.9%)であった。

コミュニティセンターdistaを初めて利用した割合は1回目13.5%、2回目12.4%であり、過去6ヶ月より以前に訪れた割合は1回目3.8%、2回目11.8%で有意差がみられた( $p=0.03$ )。

これまでにdistaで性感染症やエイズの情報を得たことがあるのは全体で78.4%(1回目77.6%、2回目78.7%)であり、スタッフから聞いたと回答する人が多かった(全体で50.0%、1回目45.5%、2回目53.3%)。初来場者を除くと、スタッフから性感染症やエイズの情報を得た人の割合は1回目50.3%、2回目60.1%であった。また、これまでにdistaで悩みや不安について相談したことがあるのは全体で38.4%(38.5%、37.9%)であり、スタッフに相談したと回答する人が多かった(全体で25.9%、1回目26.9%、2回目24.3%)。初来場者を除くと、スタッフに相談した人の割合は1回目30.3%、2回目27.7%であった。コミュニティセンターdistaを利用する中で、友達に相談した割合がスタッフに次いで高く1回目14.7%、2回目16.0%であった。また他の利用者に相談した割合は1回目6.4%、2回目7.1%であった。

HIV抗体検査について生涯受検経験のあるものは全体で75.3%(1回目73.7%、2回目76.9%)であり、過去1年間の受検割合では全体で44.4%(1回目42.3%、2回目45.6%)であった。distaでの検査会については認知割合が全体で56.1%と昨年度の36.9%から増加し、利用割合も14.0%(昨年度5.0%)と増加していた。

性感染症既往については、梅毒が全体で8.2%(1回目6.4%、2回目10.1%)B型肝炎が全体で8.2%(1回目9.0%、2回目7.7%)HIV感染症が全体で6.7%(1回目6.4%、2回目7.1%)で、いずれも有意差はみられなかった。

## 2) 年齢層別分析

年齢層別に分析した結果を表2-1から表2-8(1回目)表3-1から表3-8(2回目)に示した。コミュニティセンターdistaでは年齢層によって嗜好が異なることを考慮し、利用者と協

力しながら、カフェイベントや映画イベント、中国語などの講座が開催されており、コミュニティで人気のあるイラストレーターやキーパーソンの写真展などの展覧会も実施している。

利用者におけるイベントカテゴリー割合をみると1回目と2回目で異なっており( $p<0.01$ )1回目(6月)に比べて2回目(12月)では、展覧会割合が高く(0.0%、47.9%)、イベント・カフェ割合も高かった(5.1%、15.4%)。

年齢層別には1回目では有意差がみられ、25-34歳層では講座割合が最も高く50.8%であった。2回目の回答者ではいずれの年齢層でも展覧会割合が高く40.4%(35歳以上)から51.9%(25-34歳層)であった。

居住形態について年齢層別に有意差はみられなかったが1回目・2回目ともに、同性の友達との同居割合は年齢層が低い方が高く24歳以下で1回目11.1%、2回目9.1%であり、逆に同性パートナーとの同居割合は年齢層が高い方が高く1回目4.7%、2回目10.5%であった。

職業について1回目・2回目ともに、24歳以下は学生割合が高く(59.3%、42.4%)であり、25-34歳は常勤割合(60.0%、54.4%)、35歳以上も常勤割合(40.6%、42.1%)が高かった。

過去6ヶ月間の利用施設についてゲイナイトでは有意差がみられ、1回目は25-34歳層で最も高く44.6%( $p=0.01$ )、2回目でも25-34歳層で最も高く39.2%( $p=0.02$ )であった。またゲイ向けアプリも同様の傾向であり1回目は35歳層以上で最も低く46.9%( $p=0.12$ )、2回目でも35歳層以上で最も低く43.9%( $p<0.02$ )であった。ゲイバー利用は1回目が53.1%~64.6%、2回目が47.4%~67.1%と有意差はみられなかった。また有料のハッテン場についても有意差はみられず、1回目が28.1%~40.7%、2回目が29.8%~39.4%であった。

年齢層別に一番最近のアナルセックスにおけるコンドーム使用割合について有意差はみられず、1回目( $p=0.53$ )が48.1%(24歳以下)

~63.1%(25-34歳)、2回目( $p=0.27$ )が52.6%(35歳以上)~66.7%(24歳以下)であった。

生涯にアナルセックスの経験がない人および無回答を除き、一番最近のアナルセックスにおけるコンドーム使用状況をみたところ、アナルセックス時のコンドーム使用割合は1回目(6月)が全体で71.7%であった。年齢層別には24歳以下68.4%、25-34歳74.5%、35歳以上69.6%で有意差はみられなかった( $p=0.81$ )。2回目(12月)は全体で69.9%であった。年齢層別には24歳以下78.6%、25-34歳66.7%、35歳以上69.8%で有意差はみられなかった( $p=0.51$ )。

年齢層別にHIV抗体検査の受検経験の割合は、1回目では25-34歳層が最も高く80.0%( $p<0.01$ )、2回目では35歳以上層で84.2%( $p<0.01$ )であった。一方いずれの回も24歳以下では最も低く1回目44.4%、2回目51.5%であった。過去1年間の受検経験をみても、25-34歳層が最も高く1回目44.6%、2回目53.1%であった。

年齢層別に性感染症の既往について24歳以下に比べて25-34歳、35歳以上では既往割合は高かった。MSMでは梅毒、B型肝炎、HIV感染症の流行が指摘されているが、利用者における梅毒既往割合は24歳以下で3.7%(1回目)0.0%(2回目)であり、25-34歳で3.1%(1回目)8.9%(2回目)、35歳以上で10.9%(1回目)17.5%(2回目)であった。HIV感染症既往割合は24歳以下で0.0%(1回目)0.0%(2回目)であり、25-34歳で4.6%(1回目)5.1%(2回目)、35歳以上で10.9%(1回目)14.0%(2回目)であった。

### 3) 検査と性感染症に関する規範

年齢層別に有意差がみられたのは、2回目の調査のみで、「大阪にはゲイ・バイセクシュアル男性が利用しやすい検査場所があると思う」についてとてもそう思う・ややそう思うの割合が25-34歳層で82.3%と他の年齢層に比べ高かった。また「性感染症に感染すれば、自分自身

を振り返って悪いことしたなと感じる」についてとてもそう思う・ややそう思うの割合が 35 歳以上の層で 59.6%と他の年齢層に比べやや低かった。「性感染症の検査を受けることで、多くの人と「ナマ」でやりまくっていると、周りの友達から思われる」についてとてもそう思う・ややそう思うの割合が 24 歳以下の層で 24.2%と他の年齢層に比べやや高かった。HIV を持っている人はセックスする前に、そのことを相手に話すべきだと思う」についてとてもそう思う・ややそう思うの割合が 35 歳以上の層で 42.1%と他の年齢層に比べやや低かった。

またとてもそう思うの割合について、「HIV 検査を定期的に受けることは良いことだと、周りの友達は思っている」で昨年度 2 回目 33.3%から今年度 2 回目 40.2%では増加しており、年齢層別に有意差はみられなかったが 24 歳以下と 35 歳以上の層で 40%を越える割合となっていた。また「健康を維持するために HIV 検査を受けたほうがよいと思う」でも昨年度 1 回目 54.4%から今年度 1 回目 60.3%では増加しており、年齢層別に有意差はみられなかったが 24 歳以下と 35 歳以上の層で 60%を越える割合となっていた。

## D. 考察

### 1 コミュニティセンター-dista 利用者

本研究では 6 月と 12 月に利用者を対象とした質問紙調査を実施し、経時的な差異について分析した。2 回の調査結果は性的指向、居住地、居住形態、職業、受検行動、性行動において有意差はみられず、ほぼ類似していた。したがって、今年度も連続横断調査の対象集団として考察することが可能であると考えられる。

利用者属性としては大阪府在住者が多く、ゲイ向け商業施設利用者割合が高いことが特徴的であり、特に有料ハッテン場利用は 33.2%(昨年度 32.0%)と高い割合で持続している。これはゲイ向け商業施設に近いコミュニティセン

ターの性質として感染リスクの高い層を活動に巻き込んでいる可能性として重要である。

また、コミュニティセンターの目的の 1 つに HIV 感染症や性感染症の予防情報普及があるが、コミュニティセンターで情報を得た経験は 77.6%(6 月)、78.7%(12 月)であり極めて高かった。スタッフから情報を得ている場合が最も多いが、他の利用者(15.4%)や友達(12.2%~14.2%)から得ている場合もあり、昨年度に引き続きオープンスペースを運営することで有機的なネットワークが構築されている可能性を示している。

### 2 年齢層別の動向

昨年度と同様に先行研究の結果と居住地や商業施設利用、性感染症既往歴の傾向は類似しており、dista 利用者は商業施設利用者でもある可能性が示され再現性を確認した。一方で、一番最近のコンドーム使用割合は 25-34 歳が最も高く、検査行動も高く特に過去 1 年間の受検割合が高いことから本研究における dista での検査会の影響を考察することができる。

### 3 検査と性感染症に関する規範

本年度の結果は昨年度と比較して、特に検査の必要性に関わる規範(4、8、3)について変化していることが示された。dista での検査に関わって広報活動を強化していることが考えられ、詳細に分析を進めていく必要がある。

## E. 結論

本研究では、コミュニティセンター利用者の属性を明らかにし、検査会の対象層を把握した。

本研究で継続的に報告される性感染症や検査に関する規範や尺度は、コミュニティセンターでの検査会自体の評価や、検査プログラム開発を進める上で有用であり、今後さらに分析を進めていく。

表 1-1 コミュニティセンターdista 利用者の経時的比較 属性

	1回目(6月)		2回目(12月)		合計		Pearson $\chi^2$
	n=156		n=169		n=328		
<b>イベントカテゴリー</b>							
平常	84	53.8%	50	29.6%	136	41.5%	<b>&lt;0.01</b>
イベント・カフェ	8	5.1%	26	15.4%	34	10.4%	
講座	64	41.0%	12	7.1%	77	23.5%	
展覧会	0	0.0%	81	47.9%	81	24.7%	
<b>あなたの性別は?</b>							
男性	141	90.4%	159	94.1%	302	92.1%	0.26
女性	12	7.7%	6	3.6%	19	5.8%	
その他(トランスジェンダー・無回答)	3	1.9%	4	2.4%	7	2.1%	
<b>居住地</b>							
大阪府	97	62.2%	102	60.4%	200	61.0%	0.84
兵庫県	25	16.0%	25	14.8%	51	15.5%	
京都府	12	7.7%	13	7.7%	25	7.6%	
奈良県	4	2.6%	10	5.9%	14	4.3%	
滋賀県	3	1.9%	2	1.2%	5	1.5%	
和歌山県	1	0.6%	2	1.2%	3	0.9%	
その他	14	9.0%	15	8.9%	30	9.1%	
<b>年齢層</b>							
19歳以下	7	4.5%	5	3.0%	12	3.7%	<b>0.02</b>
20-29歳	50	32.1%	72	42.6%	122	37.2%	
30-39歳	56	35.9%	59	34.9%	117	35.7%	
40-49歳	35	22.4%	33	19.5%	68	20.7%	
50歳以上	8	5.1%	0	0.0%	9	2.7%	
<b>年齢層(再掲)</b>							
24歳以下	27	17.3%	33	19.5%	60	18.3%	0.40
25-34歳	65	41.7%	79	46.7%	146	44.5%	
35歳以上	64	41.0%	57	33.7%	122	37.2%	
<b>あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか?(複数回答)</b>							
一人暮らし	80	51.3%	83	49.1%	164	50.0%	0.52
親や兄弟・姉妹と同居	60	38.5%	62	36.7%	123	37.5%	0.54
同性のパートナーと同居	6	3.8%	12	7.1%	19	5.8%	0.26
同性の友達と同居	6	3.8%	6	3.6%	12	3.7%	0.57
異性のパートナーと同居	2	1.3%	2	1.2%	4	1.2%	0.58
異性の友達と同居	1	0.6%	2	1.2%	3	0.9%	0.51
その他	2	1.3%	4	2.4%	6	1.8%	0.45
<b>あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか?</b>							
常勤(正規雇用)	72	46.2%	79	46.7%	152	46.3%	0.52
常勤(非正規雇用)	15	9.6%	19	11.2%	35	10.7%	
パートタイマー	11	7.1%	8	4.7%	19	5.8%	
アルバイト	12	7.7%	23	13.6%	36	11.0%	
経営者	9	5.8%	8	4.7%	17	5.2%	
学生	19	12.2%	20	11.8%	39	11.9%	
その他	17	10.9%	12	7.1%	29	8.8%	
無回答	1	0.6%	0	0.0%	1	0.3%	

表 1-2 コミュニティセンターdista 利用者の経時的比較 性的指向及び利用施設

	1回目(6月) n=156		2回目(12月) n=169		合計 n=328		Pearson $\chi^2$
あなたは以下のどれにあてはまりますか?							
ゲイ(同性愛者)	131	84.0%	149	88.2%	283	86.3%	0.08
バイセクシュアル(両性愛者)	10	6.4%	8	4.7%	18	5.5%	
ヘテロセクシュアル(異性愛者)	7	4.5%	1	0.6%	8	2.4%	
わからない	5	3.2%	2	1.2%	7	2.1%	
決めたくない	1	0.6%	5	3.0%	6	1.8%	
その他	2	1.3%	4	2.4%	6	1.8%	
過去6ヵ月間の商業施設利用(複数回答)							
過去6ヵ月間の商業施設利用(再掲)	115	73.7%	129	76.3%	247	75.3%	0.59
ゲイバー	93	59.6%	100	59.2%	196	59.8%	0.94
ゲイナイト	48	30.8%	52	30.8%	101	30.8%	1.00
ゲイショップ	47	30.1%	39	23.1%	87	26.5%	0.15
ゲイ向けサークル	28	17.9%	36	21.3%	64	19.5%	0.45
ゲイ向け合コン	1	0.6%	4	2.4%	5	1.5%	0.21
mixiなどのSNS	46	29.5%	39	23.1%	85	25.9%	0.19
PC出会い系サイト	16	10.3%	15	8.9%	31	9.5%	0.67
携帯出会い系サイト	24	15.4%	27	16.0%	51	15.5%	0.88
エロ系SNS	9	5.8%	9	5.3%	18	5.5%	0.86
ゲイ向けアプリ	88	56.4%	104	61.5%	192	58.5%	0.35
ゲイの乱パ	5	3.2%	2	1.2%	7	2.1%	0.21
有料のハッテン場	48	30.8%	61	36.1%	109	33.2%	0.31
野外のハッテン場	6	3.8%	8	4.7%	14	4.3%	0.69
ハッテン場で有名な公共施設	33	21.2%	32	18.9%	65	19.8%	0.62
いずれもなし	11	7.1%	10	5.9%	21	6.4%	0.68

表 1-3 コミュニティセンターdista 利用者の経時的比較 dista 利用経験

	1回目(6月) n=156		2回目(12月) n=169		合計 n=328		Pearson $\chi^2$
今日を除いて、これまでにdista(ディスタ)を訪れたことがありますか?							
過去6ヵ月以内に訪れた	129	82.7%	128	75.7%	259	79.0%	<b>0.03</b>
過去6ヵ月より以前に訪れた	6	3.8%	20	11.8%	27	8.2%	
訪れたことはない(はじめて訪れた)	21	13.5%	21	12.4%	42	12.8%	
これまでにdista(ディスタ)で性感染症やエイズの情報を得たことはありますか?(複数回答)							
スタッフから聞いた	71	45.5%	90	53.3%	164	50.0%	0.22
distaに来て、利用者から聞いた	24	15.4%	26	15.4%	50	15.2%	0.45
distaに来て、友達から聞いた	19	12.2%	24	14.2%	43	13.1%	0.41
distaに来て、雑誌やネットで見た	51	32.7%	49	29.0%	100	30.5%	0.32
全くない	35	22.4%	36	21.3%	71	21.6%	0.43
これまでにdista(ディスタ)で悩みや不安について相談したことはありますか?(複数回答)							
スタッフに相談した	42	26.9%	41	24.3%	85	25.9%	0.85
distaに来て、利用者に相談した	10	6.4%	12	7.1%	22	6.7%	0.96
distaに来て、友達同士で相談した	23	14.7%	27	16.0%	50	15.2%	0.95
全くない	96	61.5%	105	62.1%	202	61.6%	0.99

表 1-4 コミュニティセンターdista 利用者の経時的比較 検査行動

	1回目(6月) n=156		2回目(12月) n=169		合計 n=328		Pearson $\chi^2$
あなたは今後どのくらいの頻度でHIV検査を受けようと思いますか?							
3ヶ月間に1回くらい	18	11.5%	21	12.4%	39	11.9%	0.50
6ヶ月間に1回くらい	29	18.6%	27	16.0%	56	17.1%	
1年間に1回くらい	33	21.2%	36	21.3%	71	21.6%	
新しい彼氏や恋人ができたり、できそうときに受ける	22	14.1%	19	11.2%	41	12.5%	
特に決めていない	39	25.0%	57	33.7%	97	29.6%	
受けるつもりはない	12	7.7%	8	4.7%	20	6.1%	
無回答	3	1.9%	1	0.6%	4	1.2%	
今後の受検意図(再掲)							
定期的には受けない	73	46.8%	84	49.7%	158	48.2%	0.71
1年間に1回くらい	33	21.2%	36	21.3%	71	21.6%	
3-6ヶ月間に1回くらい	47	30.1%	48	28.4%	95	29.0%	
無回答	3	1.9%	1	0.6%	4	1.2%	
これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか?							
ある	115	73.7%	130	76.9%	247	75.3%	0.30
ない	39	25.0%	39	23.1%	79	24.1%	
無回答	2	1.3%	0	0.0%	2	0.6%	
これまでに何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?							
1回だけ	22	14.1%	32	18.9%	54	16.5%	0.56
2回	24	15.4%	21	12.4%	45	13.7%	
3回	9	5.8%	15	8.9%	24	7.3%	
4回以上	56	35.9%	60	35.5%	118	36.0%	
未受検	41	26.3%	39	23.1%	81	24.7%	
無回答	4	2.6%	2	1.2%	6	1.8%	
一番最近にHIV検査(エイズ検査)を受けたのはいつですか?							
過去6ヵ月間の間	34	21.8%	48	28.4%	82	25.1%	0.07
過去6ヵ月以上前~過去1年の間	32	20.5%	29	17.2%	63	19.3%	
過去1年以上前~過去3年の間	27	17.3%	25	14.8%	52	15.9%	
過去3年以上前	15	9.6%	27	16.0%	42	12.8%	
未受検	41	26.3%	39	23.1%	81	24.8%	
無回答	7	4.5%	1	0.6%	7	2.1%	
distaでの検査会「distaでちえっくん」を知っていますか?							
知っていて、利用したことがある	18	11.5%	27	16.0%	46	14.0%	0.46
知っているけど、利用したことはない	63	40.4%	73	43.2%	138	42.1%	
知らない	74	47.4%	67	39.6%	141	43.0%	
無回答	1	0.6%	2	1.2%	3	0.9%	

表 1-5 コミュニティセンターdista 利用者の経時的比較 性行動

	1回目(6月) n=156		2回目(12月) n=169		合計 n=328		Pearson $\chi^2$
<b>これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか?</b>							
ある	125	80.1%	148	87.6%	275	83.8%	0.18
ない	30	19.2%	20	11.8%	51	15.5%	
無回答	1	0.6%	1	0.6%	2	0.6%	
<b>一番最近にアナルセックスをしたのはいつですか?</b>							
現在～過去6ヵ月間の間	85	54.5%	100	59.2%	185	56.4%	0.10
過去6ヵ月間～過去1年間の間	12	7.7%	9	5.3%	22	6.7%	
1年以上前	22	14.1%	27	16.0%	50	15.2%	
覚えていない	3	1.9%	11	6.5%	14	4.3%	
生涯なし	31	19.9%	21	12.4%	53	16.2%	
無回答	3	1.9%	1	0.6%	4	1.2%	
<b>一番最近にアナルセックスした相手はどれにあてはまりますか?</b>							
彼氏や恋人	36	23.1%	38	22.5%	75	22.9%	0.36
友達やセクフレ	49	31.4%	58	34.3%	107	32.6%	
その場限りの相手	36	23.1%	50	29.6%	87	26.5%	
その他	1	0.6%	1	0.6%	2	0.6%	
生涯なし	31	19.9%	21	12.4%	53	16.2%	
無回答	3	1.9%	1	0.6%	4	1.2%	
<b>一番最近にアナルセックスした時、コンドームを使いましたか?</b>							
使った	86	55.1%	100	59.2%	188	57.3%	0.46
使わなかった	28	17.9%	34	20.1%	62	18.9%	
覚えていない	6	3.8%	9	5.3%	15	4.6%	
生涯なし	31	19.9%	21	12.4%	53	16.2%	
無回答	5	3.2%	5	3.0%	10	3.0%	
<b>これまでにかかったことがある性感染症はありますか?(複数回答)</b>							
梅毒	10	6.4%	17	10.1%	27	8.2%	0.23
A型肝炎	1	0.6%	2	1.2%	3	0.9%	0.61
B型肝炎	14	9.0%	13	7.7%	27	8.2%	0.68
C型肝炎	0	0.0%	3	1.8%	3	0.9%	0.10
クラミジア	21	13.5%	14	8.3%	35	10.7%	0.13
尖圭コンジローマ	9	5.8%	11	6.5%	21	6.4%	0.78
淋病	6	3.8%	9	5.3%	15	4.6%	0.53
HIV感染症	10	6.4%	12	7.1%	22	6.7%	0.81
赤痢アメーバ	3	1.9%	5	3.0%	8	2.4%	0.55
毛じらみ	36	23.1%	44	26.0%	82	25.0%	0.54
性器ヘルペス	4	2.6%	1	0.6%	5	1.5%	0.15
その他	6	3.8%	1	0.6%	7	2.1%	<b>0.04</b>
いずれもない	86	55.1%	83	49.1%	170	51.8%	0.28
<b>感染後のカミングアウト</b>							
話す必要がある	69	44.2%	78	46.2%	148	45.1%	0.07
自分から話したい	32	20.5%	21	12.4%	55	16.8%	
相手から話してほしい	17	10.9%	32	18.9%	49	14.9%	
話す必要はあまりない	38	24.4%	38	22.5%	76	23.2%	



表 2-1 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 属性

	24歳以下 n=27		25-34歳 n=65		35歳以上 n=64		合計 n=156		Pearson $\chi^2$
<b>イベントカテゴリー</b>									
平常	14	51.9%	30	46.2%	40	62.5%	84	53.8%	<b>0.04</b>
イベント・カフェ	4	14.8%	2	3.1%	2	3.1%	8	5.1%	
講座	9	33.3%	33	50.8%	22	34.4%	64	41.0%	
展覧会	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
<b>あなたの性別は?</b>									
男性	24	88.9%	63	96.9%	54	84.4%	141	90.4%	0.13
女性	3	11.1%	1	1.5%	8	12.5%	12	7.7%	
その他(トランスジェンダー・無回答)	0	0.0%	1	1.5%	2	3.1%	3	1.9%	
<b>居住地</b>									
大阪府	14	51.9%	44	67.7%	39	60.9%	97	62.2%	0.53
兵庫県	7	25.9%	9	13.8%	9	14.1%	25	16.0%	
京都府	2	7.4%	4	6.2%	6	9.4%	12	7.7%	
奈良県	1	3.7%	2	3.1%	1	1.6%	4	2.6%	
滋賀県	0	0.0%	2	3.1%	1	1.6%	3	1.9%	
和歌山県	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	
その他	2	7.4%	4	6.2%	8	12.5%	14	9.0%	
<b>あなたは、現在だけかと一緒に暮らしていますか?(複数回答)</b>									
一人暮らし	10	37.0%	37	56.9%	33	51.6%	80	51.3%	0.34
親や兄弟・姉妹と同居	13	48.1%	21	32.3%	26	40.6%	60	38.5%	
同性のパートナーと同居	0	0.0%	3	4.6%	3	4.7%	6	3.8%	
同性の友達と同居	3	11.1%	3	4.6%	0	0.0%	6	3.8%	
異性のパートナーと同居	0	0.0%	1	1.5%	1	1.6%	2	1.3%	
異性の友達と同居	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%	2	1.3%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
<b>あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか?</b>									
常勤(正規雇用)	7	25.9%	39	60.0%	26	40.6%	72	46.2%	<b>&lt;0.01</b>
常勤(非正規雇用)	0	0.0%	6	9.2%	9	14.1%	15	9.6%	
パートタイマー	1	3.7%	3	4.6%	7	10.9%	11	7.1%	
アルバイト	2	7.4%	6	9.2%	4	6.3%	12	7.7%	
経営者	0	0.0%	3	4.6%	6	9.4%	9	5.8%	
学生	16	59.3%	3	4.6%	0	0.0%	19	12.2%	
その他	0	0.0%	5	7.7%	12	18.8%	17	10.9%	
無回答	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	
<b>あなたは以下のどれにあてはまりますか?</b>									
ゲイ	23	85.2%	57	87.7%	51	79.7%	131	84.0%	0.78
バイセクシュアル	2	7.4%	4	6.2%	4	6.3%	10	6.4%	
ヘテロセクシュアル	1	3.7%	2	3.1%	4	6.3%	7	4.5%	
わからない	1	3.7%	1	1.5%	3	4.7%	5	3.2%	
決めたくない	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%	1	0.6%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%	2	1.3%	

表 2-2 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 過去6ヵ月間の施設利用経験

	24歳以下 n=27		25-34歳 n=65		35歳以上 n=64		合計 n=156		Pearson $\chi^2$
過去6ヵ月間に、以下の施設やサービスを利用しましたか?(複数回答)									
過去6ヵ月間の商業施設利用(再掲)	18	66.7%	52	80.0%	45	70.3%	115	73.7%	0.30
ゲイバー	17	63.0%	42	64.6%	34	53.1%	93	59.6%	0.38
ゲイナイト	6	22.2%	29	44.6%	13	20.3%	48	30.8%	<b>0.01</b>
ゲイショップ	8	29.6%	21	32.3%	18	28.1%	47	30.1%	0.87
ゲイ向けサークル	4	14.8%	16	24.6%	8	12.5%	28	17.9%	0.18
ゲイ向け合コン	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%	1	0.6%	0.49
mixiなどのSNS	10	37.0%	13	20.0%	23	35.9%	46	29.5%	0.09
PC出会い系サイト	2	7.4%	5	7.7%	9	14.1%	16	10.3%	0.43
携帯出会い系サイト	4	14.8%	9	13.8%	11	17.2%	24	15.4%	0.87
エロ系SNS	0	0.0%	5	7.7%	4	6.3%	9	5.8%	0.35
ゲイ向けアプリ	16	59.3%	42	64.6%	30	46.9%	88	56.4%	0.12
ゲイの乱パ	1	3.7%	3	4.6%	1	1.6%	5	3.2%	0.61
有料のハッテン場	11	40.7%	19	29.2%	18	28.1%	48	30.8%	0.46
野外のハッテン場	0	0.0%	2	3.1%	4	6.3%	6	3.8%	0.34
ハッテン場で有名な公共施設	4	14.8%	13	20.0%	16	25.0%	33	21.2%	0.53
いずれもなし	1	3.7%	4	6.2%	6	9.4%	11	7.1%	0.59

表 2-3 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 性感染症既往

	24歳以下 n=27		25-34歳 n=65		35歳以上 n=64		合計 n=156		Pearson $\chi^2$
これまでにかかったことがある性感染症はありますか?(複数回答)									
梅毒	1	3.7%	2	3.1%	7	10.9%	10	6.4%	0.16
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	1	0.6%	0.49
B型肝炎	0	0.0%	4	6.2%	10	15.6%	14	9.0%	<b>0.03</b>
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
クラミジア	1	3.7%	7	10.8%	13	20.3%	21	13.5%	0.07
尖圭コンジローマ	0	0.0%	2	3.1%	7	10.9%	9	5.8%	0.06
淋病	0	0.0%	1	1.5%	5	7.8%	6	3.8%	0.09
HIV感染症	0	0.0%	3	4.6%	7	10.9%	10	6.4%	0.11
赤痢アメーバ	0	0.0%	1	1.5%	2	3.1%	3	1.9%	0.59
毛じらみ	3	11.1%	11	16.9%	22	34.4%	36	23.1%	<b>0.02</b>
性器ヘルペス	0	0.0%	1	1.5%	3	4.7%	4	2.6%	0.34
その他	0	0.0%	1	1.5%	5	7.8%	6	3.8%	0.09
いずれもない	23	85.2%	41	63.1%	22	34.4%	86	55.1%	<b>&lt;0.01</b>

表 2-4 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 性行動

	24歳以下 n=27		25-34歳 n=65		35歳以上 n=64		合計 n=156		Pearson $\chi^2$
これまで男性とアナルセックスをしたことがありますか?									
ある	20	74.1%	57	87.7%	48	75.0%	125	80.1%	0.28
ない	7	25.9%	8	12.3%	15	23.4%	30	19.2%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	1	0.6%	
一番最近にアナルセックスをしたのはいつですか?									
現在～過去6ヵ月間の間	16	59.3%	38	58.5%	31	48.4%	85	54.5%	0.28
過去6ヵ月間～過去1年間の間	2	7.4%	8	12.3%	2	3.1%	12	7.7%	
1年以上前	1	3.7%	9	13.8%	12	18.8%	22	14.1%	
覚えていない	1	3.7%	1	1.5%	1	1.6%	3	1.9%	
生涯なし	7	25.9%	8	12.3%	16	25.0%	31	19.9%	
無回答	0	0.0%	1	1.5%	2	3.1%	3	1.9%	
一番最近にアナルセックスした相手はどれにあてはまりますか?									
彼氏や恋人	8	29.6%	11	16.9%	17	26.6%	36	23.1%	0.16
友達やセクフレ	10	37.0%	24	36.9%	15	23.4%	49	31.4%	
その場限りの相手	2	7.4%	20	30.8%	14	21.9%	36	23.1%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	1	0.6%	
生涯なし	7	25.9%	8	12.3%	16	25.0%	31	19.9%	
無回答	0	0.0%	2	3.1%	1	1.6%	3	1.9%	
一番最近にアナルセックスした時、コンドームを使いましたか?									
使った	13	48.1%	41	63.1%	32	50.0%	86	55.1%	0.53
使わなかった	6	22.2%	12	18.5%	10	15.6%	28	17.9%	
覚えていない	0	0.0%	2	3.1%	4	6.3%	6	3.8%	
生涯なし	7	25.9%	8	12.3%	16	25.0%	31	19.9%	
無回答	1	3.7%	2	3.1%	2	3.1%	5	3.2%	

表 2-5 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 検査行動

	24歳以下 n=27		25-34歳 n=65		35歳以上 n=64		合計 n=156		Pearson $\chi^2$
これまでHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか?									
ある	12	44.4%	52	80.0%	51	79.7%	115	73.7%	<b>&lt;0.01</b>
ない	15	55.6%	13	20.0%	11	17.2%	39	25.0%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%	2	1.3%	
これまで何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?									
1回だけ	4	14.8%	10	15.4%	8	12.5%	22	14.1%	<b>0.03</b>
2回	4	14.8%	11	16.9%	9	14.1%	24	15.4%	
3回	0	0.0%	6	9.2%	3	4.7%	9	5.8%	
4回以上	4	14.8%	23	35.4%	29	45.3%	56	35.9%	
未受検	15	55.6%	13	20.0%	13	20.3%	41	26.3%	
無回答	0	0.0%	2	3.1%	2	3.1%	4	2.6%	
一番最近にHIV検査(エイズ検査)を受けたのはいつですか?									
過去6ヵ月間の間	7	25.9%	14	21.5%	13	20.3%	34	21.8%	<b>0.02</b>
過去6ヵ月以上前～過去1年の間	4	14.8%	15	23.1%	13	20.3%	32	20.5%	
過去1年以上前～過去3年の間	0	0.0%	13	20.0%	14	21.9%	27	17.3%	
過去3年以上前	0	0.0%	7	10.8%	8	12.5%	15	9.6%	
未受検	15	55.6%	13	20.0%	13	20.3%	41	26.3%	
無回答	1	3.7%	3	4.6%	3	4.7%	7	4.5%	
あなたは今後どのくらいの頻度でHIV検査を受けようと思いますか?									
3ヶ月間に1回くらい	5	18.5%	7	10.8%	6	9.4%	18	11.5%	<b>0.04</b>
6ヶ月間に1回くらい	5	18.5%	14	21.5%	10	15.6%	29	18.6%	
1年間に1回くらい	3	11.1%	16	24.6%	14	21.9%	33	21.2%	
新しい彼氏や恋人ができたり、できそうときに受ける	3	11.1%	9	13.8%	10	15.6%	22	14.1%	
特に決めていない	8	29.6%	14	21.5%	17	26.6%	39	25.0%	
受けるつもりはない	0	0.0%	5	7.7%	7	10.9%	12	7.7%	
無回答	3	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.9%	

表 2-6 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 dista 利用経験

	24歳以下 n=27		25-34歳 n=65		35歳以上 n=64		合計 n=156		Pearson $\chi^2$
今日を除いて、これまでにdista(ディスタ)を訪れたことがありますか?									
過去6ヵ月以内に訪れた	18	66.7%	56	86.2%	55	85.9%	129	82.7%	<b>0.01</b>
過去6ヵ月より以前に訪れた	0	0.0%	2	3.1%	4	6.3%	6	3.8%	
はじめて訪れた	9	33.3%	7	10.8%	5	7.8%	21	13.5%	
これまでにdistaで性感染症やエイズの情報を得たことはありますか?(複数回答)									
スタッフから聞いた	12	44.4%	34	52.3%	25	39.1%	71	45.5%	0.28
distaに来て、利用者から聞いた	1	3.7%	13	20.0%	10	15.6%	24	15.4%	0.11
distaに来て、友達から聞いた	1	3.7%	9	13.8%	9	14.1%	19	12.2%	0.21
distaに来て、雑誌やネットで見た	3	11.1%	22	33.8%	26	40.6%	51	32.7%	<b>0.02</b>
全くない	10	37.0%	12	18.5%	13	20.3%	35	22.4%	0.13
これまでにdistaで悩みや不安について相談したことはありますか?(複数回答)									
スタッフに相談した	3	11.1%	24	36.9%	15	23.4%	42	26.9%	<b>0.01</b>
distaに来て、利用者に相談した	0	0.0%	4	6.2%	6	9.4%	10	6.4%	0.06
distaに来て、友達同士で相談した	3	11.1%	11	16.9%	9	14.1%	23	14.7%	0.17
全くない	21	77.8%	36	55.4%	39	60.9%	96	61.5%	<b>0.04</b>
distaでの検査会「distaでちえっくん」を知っていますか?									
知っていて、利用したことがある	11	40.7%	28	43.1%	34	53.1%	73	46.8%	<b>0.01</b>
知っているけど、利用したことはない	3	11.1%	16	24.6%	14	21.9%	33	21.2%	
知らない	10	37.0%	21	32.3%	16	25.0%	47	30.1%	
無回答	3	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.9%	

表 2-7 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 規範

	24歳以下 n=27		25-34歳 n=65		35歳以上 n=64		合計 n=156		Pearson $\chi^2$
1) 大阪にはHIV検査を受ける機会時間や場所などがあまりないと思う									
とてもそう思う	5	18.5%	4	6.2%	6	9.4%	15	9.6%	0.38
ややそう思う	5	18.5%	26	40.0%	23	35.9%	54	34.6%	
あまりそう思わない	14	51.9%	26	40.0%	27	42.2%	67	42.9%	
全くそう思わない	3	11.1%	9	13.8%	8	12.5%	20	12.8%	
2) 大阪にはゲイ・バイセクシュアル男性が利用しやすい検査場所があると思う									
とてもそう思う	6	22.2%	12	18.5%	8	12.5%	26	16.7%	0.36
ややそう思う	11	40.7%	36	55.4%	30	46.9%	77	49.4%	
あまりそう思わない	10	37.0%	14	21.5%	24	37.5%	48	30.8%	
全くそう思わない	0	0.0%	3	4.6%	2	3.1%	5	3.2%	
3) HIV検査を定期的に受けることは良いことだと、周りの友達は思っている									
とてもそう思う	10	37.0%	27	41.5%	24	37.5%	61	39.1%	0.41
ややそう思う	16	59.3%	30	46.2%	29	45.3%	75	48.1%	
あまりそう思わない	0	0.0%	6	9.2%	10	15.6%	16	10.3%	
全くそう思わない	1	3.7%	2	3.1%	1	1.6%	4	2.6%	
4) HIV検査は予防に自信のないセックスをしたときに受けるべきだと思う									
とてもそう思う	12	44.4%	24	36.9%	23	35.9%	59	37.8%	0.91
ややそう思う	9	33.3%	24	36.9%	20	31.3%	53	34.0%	
あまりそう思わない	4	14.8%	13	20.0%	14	21.9%	31	19.9%	
全くそう思わない	2	7.4%	4	6.2%	7	10.9%	13	8.3%	
5) 新しい彼氏や恋人ができれば(できそうなときは)、HIV検査を受けるべきだと思う									
とてもそう思う	17	63.0%	32	49.2%	29	45.3%	78	50.0%	0.84
ややそう思う	8	29.6%	27	41.5%	29	45.3%	64	41.0%	
あまりそう思わない	2	7.4%	5	7.7%	5	7.8%	12	7.7%	
全くそう思わない	0	0.0%	1	1.5%	1	1.6%	2	1.3%	
6) HIV検査を受けるとゲイ・バイセクシュアルであることが知られると思う									
とてもそう思う	5	18.5%	8	12.3%	4	6.3%	17	10.9%	0.15
ややそう思う	6	22.2%	15	23.1%	7	10.9%	28	17.9%	
あまりそう思わない	5	18.5%	19	29.2%	26	40.6%	50	32.1%	
全くそう思わない	11	40.7%	23	35.4%	27	42.2%	61	39.1%	
7) HIV検査を受けるときに、男性とのセックスについて説明するのは面倒に感じる									
とてもそう思う	7	25.9%	10	15.4%	15	23.4%	32	20.5%	0.69
ややそう思う	11	40.7%	26	40.0%	23	35.9%	60	38.5%	
あまりそう思わない	4	14.8%	17	26.2%	18	28.1%	39	25.0%	
全くそう思わない	5	18.5%	12	18.5%	8	12.5%	25	16.0%	
8) 健康を維持するためにHIV検査は受けたほうがよいと思う									
とてもそう思う	17	63.0%	35	53.8%	42	65.6%	94	60.3%	0.38
ややそう思う	7	25.9%	28	43.1%	18	28.1%	53	34.0%	
あまりそう思わない	2	7.4%	2	3.1%	3	4.7%	7	4.5%	
全くそう思わない	1	3.7%	0	0.0%	1	1.6%	2	1.3%	
9) HIV検査をして結果を知ることはいつも怖いので、できれば受けたくないと感じる									
とてもそう思う	2	7.4%	1	1.5%	5	7.8%	8	5.1%	0.10
ややそう思う	8	29.6%	18	27.7%	14	21.9%	40	25.6%	
あまりそう思わない	9	33.3%	32	49.2%	19	29.7%	60	38.5%	
全くそう思わない	8	29.6%	14	21.5%	26	40.6%	48	30.8%	
10) HIV検査を受けることで、周りの人にはHIVに感染していると思われるように感じる									
とてもそう思う	3	11.1%	5	7.7%	5	7.8%	13	8.3%	0.84
ややそう思う	6	22.2%	8	12.3%	8	12.5%	22	14.1%	
あまりそう思わない	9	33.3%	23	35.4%	21	32.8%	53	34.0%	
全くそう思わない	9	33.3%	29	44.6%	30	46.9%	68	43.6%	

表 2-8 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 規範

	24歳以下 n=27		25-34歳 n=65		35歳以上 n=64		合計 n=156		Pearson $\chi^2$
11) HIV感染症は治療の進歩によって昔ほど重大な病気ではなくなった									
とてもそう思う	7	25.9%	12	18.5%	15	23.4%	34	21.8%	0.69
ややそう思う	13	48.1%	36	55.4%	34	53.1%	83	53.2%	
あまりそう思わない	4	14.8%	15	23.1%	11	17.2%	30	19.2%	
全くそう思わない	3	11.1%	2	3.1%	4	6.3%	9	5.8%	
12) エイズ発症をきっかけにHIVに感染していることがわかるより、検査で早めに感染していることがわかったほうが良いと思う									
とてもそう思う	17	63.0%	44	67.7%	51	79.7%	112	71.8%	0.08
ややそう思う	8	29.6%	21	32.3%	11	17.2%	40	25.6%	
あまりそう思わない	2	7.4%	0	0.0%	2	3.1%	4	2.6%	
全くそう思わない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
13) HIV感染症に感染したら、セックスする前にそのことを伝えたいと思う									
とてもそう思う	15	55.6%	36	55.4%	38	59.4%	89	57.1%	0.94
ややそう思う	8	29.6%	19	29.2%	15	23.4%	42	26.9%	
あまりそう思わない	3	11.1%	9	13.8%	8	12.5%	20	12.8%	
全くそう思わない	1	3.7%	1	1.5%	3	4.7%	5	3.2%	
14) 性感染症に感染すれば、自分自身を振り返って悪いことしたなと感じる									
とてもそう思う	10	37.0%	28	43.1%	22	34.4%	60	38.5%	0.38
ややそう思う	9	33.3%	28	43.1%	27	42.2%	64	41.0%	
あまりそう思わない	7	25.9%	6	9.2%	9	14.1%	22	14.1%	
全くそう思わない	1	3.7%	3	4.6%	6	9.4%	10	6.4%	
15) 性感染症に感染すれば、セックスする相手は見つけにくくなると思う									
とてもそう思う	13	48.1%	26	40.0%	25	39.1%	64	41.0%	0.71
ややそう思う	12	44.4%	28	43.1%	27	42.2%	67	42.9%	
あまりそう思わない	0	0.0%	7	10.8%	8	12.5%	15	9.6%	
全くそう思わない	2	7.4%	4	6.2%	4	6.3%	10	6.4%	
16) 性感染症に感染すれば、友達と今までのようにはつきあえなくなると思う									
とてもそう思う	4	14.8%	11	16.9%	9	14.1%	24	15.4%	0.10
ややそう思う	10	37.0%	23	35.4%	10	15.6%	43	27.6%	
あまりそう思わない	7	25.9%	21	32.3%	24	37.5%	52	33.3%	
全くそう思わない	6	22.2%	10	15.4%	21	32.8%	37	23.7%	
17) 性感染症に感染したことが周りの友達に知られたら、嫌な印象を持たれると思う									
とてもそう思う	8	29.6%	21	32.3%	13	20.3%	42	26.9%	0.14
ややそう思う	13	48.1%	31	47.7%	30	46.9%	74	47.4%	
あまりそう思わない	6	22.2%	10	15.4%	11	17.2%	27	17.3%	
全くそう思わない	0	0.0%	3	4.6%	10	15.6%	13	8.3%	
18) HIVに感染しているかどうかは、ぎりぎりまであいまいなままにしておきたい									
とてもそう思う	2	7.4%	4	6.2%	7	10.9%	13	8.3%	0.65
ややそう思う	8	29.6%	16	24.6%	15	23.4%	39	25.0%	
あまりそう思わない	10	37.0%	27	41.5%	18	28.1%	55	35.3%	
全くそう思わない	7	25.9%	18	27.7%	24	37.5%	49	31.4%	
19) 性感染症の検査を受けることで、多くの人と「ナマ」でやりまくっていると、周りの友達から思われる									
とてもそう思う	3	11.1%	5	7.7%	5	7.8%	13	8.3%	0.81
ややそう思う	8	29.6%	25	38.5%	17	26.6%	50	32.1%	
あまりそう思わない	8	29.6%	20	30.8%	21	32.8%	49	31.4%	
全くそう思わない	8	29.6%	15	23.1%	21	32.8%	44	28.2%	
20) HIVを持っている人はセックスする前に、そのことを相手に話すべきだと思う									
とてもそう思う	16	59.3%	35	53.8%	32	50.0%	83	53.2%	0.30
ややそう思う	8	29.6%	18	27.7%	12	18.8%	38	24.4%	
あまりそう思わない	1	3.7%	9	13.8%	15	23.4%	25	16.0%	
全くそう思わない	2	7.4%	3	4.6%	5	7.8%	10	6.4%	

表 3-1 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 属性

	24歳以下 n=33		25-34歳 n=79		35歳以上 n=57		合計 n=169		Pearson $\chi^2$
<b>イベントカテゴリー</b>									
平常	8	24.2%	18	22.8%	24	42.1%	50	29.6%	0.05
イベント・カフェ	8	24.2%	11	13.9%	7	12.3%	26	15.4%	
講座	0	0.0%	9	11.4%	3	5.3%	12	7.1%	
展覧会	17	51.5%	41	51.9%	23	40.4%	81	47.9%	
<b>あなたの性別は?</b>									
男性	33	100.0%	77	97.5%	49	86.0%	159	94.1%	<b>0.03</b>
女性	0	0.0%	1	1.3%	5	8.8%	6	3.6%	
その他(トランスジェンダー・無回答)	0	0.0%	1	1.3%	3	5.3%	4	2.4%	
<b>居住地</b>									
大阪府	17	51.5%	50	63.3%	35	61.4%	102	60.4%	<b>0.02</b>
兵庫県	4	12.1%	14	17.7%	7	12.3%	25	14.8%	
京都府	3	9.1%	4	5.1%	6	10.5%	13	7.7%	
奈良県	0	0.0%	5	6.3%	5	8.8%	10	5.9%	
滋賀県	2	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.2%	
和歌山県	2	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.2%	
その他	5	15.2%	6	7.6%	4	7.0%	15	8.9%	
<b>あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか?(複数回答)</b>									
一人暮らし	16	48.5%	40	50.6%	27	47.4%	83	49.1%	0.93
親や兄弟・姉妹と同居	13	39.4%	31	39.2%	18	31.6%	62	36.7%	
同性のパートナーと同居	0	0.0%	6	7.6%	6	10.5%	12	7.1%	
同性の友達と同居	3	9.1%	2	2.5%	1	1.8%	6	3.6%	
異性のパートナーと同居	0	0.0%	0	0.0%	2	3.5%	2	1.2%	
異性の友達と同居	0	0.0%	0	0.0%	2	3.5%	2	1.2%	
その他	1	3.0%	0	0.0%	3	5.3%	4	2.4%	
その他	1	3.0%	0	0.0%	3	5.3%	4	2.4%	
<b>あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか?</b>									
常勤(正規雇用)	12	36.4%	43	54.4%	24	42.1%	79	46.7%	<b>&lt;0.01</b>
常勤(非正規雇用)	0	0.0%	11	13.9%	8	14.0%	19	11.2%	
パートタイマー	2	6.1%	2	2.5%	4	7.0%	8	4.7%	
アルバイト	4	12.1%	13	16.5%	6	10.5%	23	13.6%	
経営者	0	0.0%	1	1.3%	7	12.3%	8	4.7%	
学生	14	42.4%	5	6.3%	1	1.8%	20	11.8%	
その他	1	3.0%	4	5.1%	7	12.3%	12	7.1%	
その他	1	3.0%	4	5.1%	7	12.3%	12	7.1%	
<b>あなたは以下のどれにあてはまりますか?</b>									
ゲイ	30	90.9%	72	91.1%	47	82.5%	149	88.2%	0.23
バイセクシュアル	2	6.1%	5	6.3%	1	1.8%	8	4.7%	
ヘテロセクシュアル	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	1	0.6%	
わからない	0	0.0%	0	0.0%	2	3.5%	2	1.2%	
決めたくない	1	3.0%	1	1.3%	3	5.3%	5	3.0%	
その他	0	0.0%	1	1.3%	3	5.3%	4	2.4%	



表 3-2 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 過去6ヵ月間の施設利用経験

	24歳以下 n=33		25-34歳 n=79		35歳以上 n=57		合計 n=169		Pearson $\chi^2$
過去6ヵ月間に、以下の施設やサービスを利用しましたか?(複数回答)									
過去6ヵ月間の商業施設利用(再掲)	26	78.8%	63	79.7%	40	70.2%	129	76.3%	0.40
ゲイバー	20	60.6%	53	67.1%	27	47.4%	100	59.2%	0.07
ゲイナイト	11	33.3%	31	39.2%	10	17.5%	52	30.8%	<b>0.02</b>
ゲイショップ	6	18.2%	21	26.6%	12	21.1%	39	23.1%	0.57
ゲイ向けサークル	7	21.2%	15	19.0%	14	24.6%	36	21.3%	0.74
ゲイ向け合コン	0	0.0%	4	5.1%	0	0.0%	4	2.4%	0.10
mixiなどのSNS	3	9.1%	18	22.8%	18	31.6%	39	23.1%	0.05
PC出会い系サイト	1	3.0%	7	8.9%	7	12.3%	15	8.9%	0.33
携帯出会い系サイト	4	12.1%	14	17.7%	9	15.8%	27	16.0%	0.76
エロ系SNS	1	3.0%	4	5.1%	4	7.0%	9	5.3%	0.71
ゲイ向けアプリ	20	60.6%	59	74.7%	25	43.9%	104	61.5%	<b>&lt;0.01</b>
ゲイの乱パ	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	2	1.2%	0.32
有料のハッテン場	13	39.4%	31	39.2%	17	29.8%	61	36.1%	0.48
野外のハッテン場	1	3.0%	5	6.3%	2	3.5%	8	4.7%	0.65
ハッテン場で有名な公共施設	4	12.1%	18	22.8%	10	17.5%	32	18.9%	0.40
いずれもなし	0	0.0%	3	3.8%	7	12.3%	10	5.9%	<b>0.03</b>

表 3-3 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 性感染症既往

	24歳以下 n=33		25-34歳 n=79		35歳以上 n=57		合計 n=169		Pearson $\chi^2$
これまでにかかったことがある性感染症はありますか?(複数回答)									
梅毒	0	0.0%	7	8.9%	10	17.5%	17	10.1%	0.06
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	2	3.5%	2	1.2%	0.16
B型肝炎	0	0.0%	5	6.3%	8	14.0%	13	7.7%	0.08
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	3	5.3%	3	1.8%	0.07
クラミジア	1	3.0%	7	8.9%	6	10.5%	14	8.3%	0.41
尖圭コンジローマ	2	6.1%	3	3.8%	6	10.5%	11	6.5%	0.28
淋病	0	0.0%	3	3.8%	6	10.5%	9	5.3%	0.11
HIV感染症	0	0.0%	4	5.1%	8	14.0%	12	7.1%	0.05
赤痢アメーバ	0	0.0%	1	1.3%	4	7.0%	5	3.0%	0.11
毛じらみ	3	9.1%	17	21.5%	24	42.1%	44	26.0%	<b>0.01</b>
性器ヘルペス	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	1	0.6%	0.32
その他	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	1	0.6%	0.42
いずれもない	21	63.6%	41	51.9%	21	36.8%	83	49.1%	<b>0.01</b>

表 3-4 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 性行動

	24歳以下 n=33		25-34歳 n=79		35歳以上 n=57		合計 n=169		Pearson $\chi^2$
これまで男性とアナルセックスをしたことがありますか?									
ある	28	84.8%	74	93.7%	46	80.7%	148	87.6%	0.16
ない	5	15.2%	5	6.3%	10	17.5%	20	11.8%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	1	0.6%	
一番最近にアナルセックスをしたのはいつですか?									
現在～過去6ヵ月間の間	22	66.7%	54	68.4%	24	42.1%	100	59.2%	0.08
過去6ヵ月間～過去1年間の間	1	3.0%	5	6.3%	3	5.3%	9	5.3%	
1年以上前	2	6.1%	11	13.9%	14	24.6%	27	16.0%	
覚えていない	3	9.1%	4	5.1%	4	7.0%	11	6.5%	
生涯なし	5	15.2%	5	6.3%	11	19.3%	21	12.4%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	1	0.6%	
一番最近にアナルセックスした相手はどれにあてはまりますか?									
彼氏や恋人	6	18.2%	18	22.8%	14	24.6%	38	22.5%	0.14
友達やセクフレ	12	36.4%	33	41.8%	13	22.8%	58	34.3%	
その場限りの相手	9	27.3%	23	29.1%	18	31.6%	50	29.6%	
その他	1	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	
生涯なし	5	15.2%	5	6.3%	11	19.3%	21	12.4%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	1	0.6%	
一番最近にアナルセックスした時、コンドームを使いましたか?									
使った	22	66.7%	48	60.8%	30	52.6%	100	59.2%	0.27
使わなかった	4	12.1%	20	25.3%	10	17.5%	34	20.1%	
覚えていない	2	6.1%	4	5.1%	3	5.3%	9	5.3%	
生涯なし	5	15.2%	5	6.3%	11	19.3%	21	12.4%	
無回答	0	0.0%	2	2.5%	3	5.3%	5	3.0%	

表 3-5 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 検査行動

	24歳以下 n=33		25-34歳 n=79		35歳以上 n=57		合計 n=169		Pearson $\chi^2$
これまでHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか?									
ある	17	51.5%	65	82.3%	48	84.2%	130	76.9%	<b>&lt;0.01</b>
ない	16	48.5%	14	17.7%	9	15.8%	39	23.1%	
これまで何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?									
1回だけ	7	21.2%	13	16.5%	12	21.1%	32	18.9%	<b>&lt;0.01</b>
2回	3	9.1%	12	15.2%	6	10.5%	21	12.4%	
3回	0	0.0%	13	16.5%	2	3.5%	15	8.9%	
4回以上	7	21.2%	26	32.9%	27	47.4%	60	35.5%	
未受検	16	48.5%	14	17.7%	9	15.8%	39	23.1%	
無回答	0	0.0%	1	1.3%	1	1.8%	2	1.2%	
一番最近にHIV検査(エイズ検査)を受けたのはいつですか?									
過去6ヵ月間の間	10	30.3%	22	27.8%	16	28.1%	48	28.4%	<b>&lt;0.01</b>
過去6ヵ月以上前～過去1年の間	2	6.1%	20	25.3%	7	12.3%	29	17.2%	
過去1年以上前～過去3年の間	4	12.1%	15	19.0%	6	10.5%	25	14.8%	
過去3年以上前	1	3.0%	7	8.9%	19	33.3%	27	16.0%	
未受検	16	48.5%	14	17.7%	9	15.8%	39	23.1%	
無回答	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	1	0.6%	
あなたは今後どのくらいの頻度でHIV検査を受けようと思いますか?									
3ヶ月間に1回くらい	4	12.1%	7	8.9%	10	17.5%	21	12.4%	0.43
6ヶ月間に1回くらい	4	12.1%	17	21.5%	6	10.5%	27	16.0%	
1年間に1回くらい	7	21.2%	20	25.3%	9	15.8%	36	21.3%	
新しい彼氏や恋人ができたり、できそうなときに受ける	5	15.2%	9	11.4%	5	8.8%	19	11.2%	
特に決めていない	12	36.4%	23	29.1%	22	38.6%	57	33.7%	
受けるつもりはない	1	3.0%	2	2.5%	5	8.8%	8	4.7%	
無回答	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	1	0.6%	

表 3-6 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 dista 利用経験

	24歳以下 n=33		25-34歳 n=79		35歳以上 n=57		合計 n=169		Pearson $\chi^2$
今日を除いて、これまでにdista(ディスタ)を訪れたことがありますか?									
過去6ヵ月以内に訪れた	27	81.8%	57	72.2%	44	77.2%	128	75.7%	0.15
過去6ヵ月より以前に訪れた	0	0.0%	12	15.2%	8	14.0%	20	11.8%	
はじめて訪れた	6	18.2%	10	12.7%	5	8.8%	21	12.4%	
これまでにdistaで性感染症やエイズの情報を得たことはありますか?(複数回答)									
スタッフから聞いた	16	48.5%	46	58.2%	28	49.1%	90	53.3%	0.52
distaに来て、利用者から聞いた	3	9.1%	11	13.9%	12	21.1%	26	15.4%	0.33
distaに来て、友達から聞いた	3	9.1%	13	16.5%	8	14.0%	24	14.2%	0.56
distaに来て、雑誌やネットを見た	4	12.1%	20	25.3%	25	43.9%	49	29.0%	<b>0.01</b>
全くない	10	30.3%	17	21.5%	9	15.8%	36	21.3%	0.31
これまでにdistaで悩みや不安について相談したことはありますか?(複数回答)									
スタッフに相談した	8	24.2%	21	26.6%	12	21.1%	41	24.3%	0.45
distaに来て、利用者に相談した	4	12.1%	4	5.1%	4	7.0%	12	7.1%	0.29
distaに来て、友達同士で相談した	4	12.1%	13	16.5%	10	17.5%	27	16.0%	0.42
全くない	22	66.7%	49	62.0%	34	59.6%	105	62.1%	0.49
distaでの検査会「distaでちえっくん」を知っていますか?									
知っていて、利用したことがある	8	24.2%	8	10.1%	11	19.3%	27	16.0%	0.18
知っているけど、利用したことはない	9	27.3%	38	48.1%	26	45.6%	73	43.2%	
知らない	15	45.5%	33	41.8%	19	33.3%	67	39.6%	
無回答	1	3.0%	0	0.0%	1	1.8%	2	1.2%	

表 3-7 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 規範

	24歳以下 n=33		25-34歳 n=79		35歳以上 n=57		合計 n=169		Pearson $\chi^2$
1) 大阪にはHIV検査をうける機会時間や場所などがあまりないと思う									
とてもそう思う	5	15.2%	10	12.7%	7	12.3%	22	13.0%	0.77
ややそう思う	9	27.3%	26	32.9%	17	29.8%	52	30.8%	
あまりそう思わない	17	51.5%	38	48.1%	25	43.9%	80	47.3%	
全くそう思わない	2	6.1%	5	6.3%	8	14.0%	15	8.9%	
2) 大阪にはゲイ・バイセクシュアル男性が利用しやすい検査場所があると思う									
とてもそう思う	9	27.3%	16	20.3%	7	12.3%	32	18.9%	0.02
ややそう思う	13	39.4%	49	62.0%	28	49.1%	90	53.3%	
あまりそう思わない	11	33.3%	14	17.7%	19	33.3%	44	26.0%	
全くそう思わない	0	0.0%	0	0.0%	3	5.3%	3	1.8%	
3) HIV検査を定期的に受けることは良いことだと、周りの友達は思っている									
とてもそう思う	16	48.5%	28	35.4%	24	42.1%	68	40.2%	0.66
ややそう思う	13	39.4%	42	53.2%	25	43.9%	80	47.3%	
あまりそう思わない	4	12.1%	9	11.4%	8	14.0%	21	12.4%	
全くそう思わない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
4) HIV検査は予防に自信のないセックスをしたときに受けるべきだと思う									
とてもそう思う	18	54.5%	35	44.3%	25	43.9%	78	46.2%	0.38
ややそう思う	9	27.3%	25	31.6%	12	21.1%	46	27.2%	
あまりそう思わない	4	12.1%	15	19.0%	12	21.1%	31	18.3%	
全くそう思わない	2	6.1%	4	5.1%	8	14.0%	14	8.3%	
5) 新しい彼氏や恋人ができれば(できそうなときは)、HIV検査を受けるべきだと思う									
とてもそう思う	21	63.6%	42	53.2%	24	42.1%	87	51.5%	0.05
ややそう思う	7	21.2%	32	40.5%	25	43.9%	64	37.9%	
あまりそう思わない	5	15.2%	3	3.8%	8	14.0%	16	9.5%	
全くそう思わない	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	2	1.2%	
6) HIV検査を受けるとゲイ・バイセクシュアルであることが知られると思う									
とてもそう思う	4	12.1%	9	11.4%	4	7.0%	17	10.1%	0.15
ややそう思う	12	36.4%	22	27.8%	9	15.8%	43	25.4%	
あまりそう思わない	9	27.3%	28	35.4%	19	33.3%	56	33.1%	
全くそう思わない	8	24.2%	20	25.3%	25	43.9%	53	31.4%	
7) HIV検査を受けるときに、男性とのセックスについて説明するのは面倒に感じる									
とてもそう思う	9	27.3%	18	22.8%	15	26.3%	42	24.9%	0.97
ややそう思う	9	27.3%	26	32.9%	18	31.6%	53	31.4%	
あまりそう思わない	10	30.3%	19	24.1%	13	22.8%	42	24.9%	
全くそう思わない	5	15.2%	16	20.3%	11	19.3%	32	18.9%	
8) 健康を維持するためにHIV検査は受けたほうがよいと思う									
とてもそう思う	21	63.6%	45	57.0%	30	52.6%	96	56.8%	0.46
ややそう思う	8	24.2%	28	35.4%	24	42.1%	60	35.5%	
あまりそう思わない	4	12.1%	6	7.6%	3	5.3%	13	7.7%	
全くそう思わない									
9) HIV検査をして結果を知ることはいつも怖いので、できれば受けたくないと感じる									
とてもそう思う	5	15.2%	10	12.7%	4	7.0%	19	11.2%	0.13
ややそう思う	8	24.2%	15	19.0%	10	17.5%	33	19.5%	
あまりそう思わない	11	33.3%	30	38.0%	13	22.8%	54	32.0%	
全くそう思わない	9	27.3%	24	30.4%	30	52.6%	63	37.3%	
10) HIV検査を受けることで、周りの人にはHIVに感染していると思われるように感じる									
とてもそう思う	3	9.1%	5	6.3%	4	7.0%	12	7.1%	0.50
ややそう思う	9	27.3%	11	13.9%	6	10.5%	26	15.4%	
あまりそう思わない	10	30.3%	28	35.4%	21	36.8%	59	34.9%	
全くそう思わない	11	33.3%	35	44.3%	26	45.6%	72	42.6%	

表 3-8 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 規範

	24歳以下 n=33		25-34歳 n=79		35歳以上 n=57		合計 n=169		Pearson $\chi^2$
11) HIV感染症は治療の進歩によって昔ほど重大な病気ではなくなった									
とてもそう思う	9	27.3%	20	25.3%	20	35.1%	49	29.0%	0.22
ややそう思う	14	42.4%	44	55.7%	21	36.8%	79	46.7%	
あまりそう思わない	9	27.3%	13	16.5%	11	19.3%	33	19.5%	
全くそう思わない	1	3.0%	2	2.5%	5	8.8%	8	4.7%	
12) エイズ発症をきっかけにHIVに感染していることがわかるより、検査で早めに感染していることがわかったほうが良いと思う									
とてもそう思う	21	63.6%	59	74.7%	45	78.9%	125	74.0%	0.20
ややそう思う	11	33.3%	20	25.3%	12	21.1%	43	25.4%	
あまりそう思わない	1	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	
全くそう思わない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
13) HIV感染症に感染したら、セックスする前にそのことを伝えたいと思う									
とてもそう思う	20	60.6%	48	60.8%	28	49.1%	96	56.8%	0.50
ややそう思う	9	27.3%	21	26.6%	16	28.1%	46	27.2%	
あまりそう思わない	3	9.1%	6	7.6%	11	19.3%	20	11.8%	
全くそう思わない	1	3.0%	4	5.1%	2	3.5%	7	4.1%	
14) 性感染症に感染すれば、自分自身を振り返って悪いことしたなと感じる									
とてもそう思う	16	48.5%	35	44.3%	15	26.3%	66	39.1%	<b>0.02</b>
ややそう思う	12	36.4%	31	39.2%	19	33.3%	62	36.7%	
あまりそう思わない	5	15.2%	10	12.7%	15	26.3%	30	17.8%	
全くそう思わない	0	0.0%	3	3.8%	8	14.0%	11	6.5%	
15) 性感染症に感染すれば、セックスする相手は見つけにくくなると思う									
とてもそう思う	16	48.5%	43	54.4%	17	29.8%	76	45.0%	0.09
ややそう思う	13	39.4%	21	26.6%	26	45.6%	60	35.5%	
あまりそう思わない	3	9.1%	11	13.9%	8	14.0%	22	13.0%	
全くそう思わない	1	3.0%	4	5.1%	6	10.5%	11	6.5%	
16) 性感染症に感染すれば、友達と今までのようにはつきあえなくなると思う									
とてもそう思う	6	18.2%	13	16.5%	5	8.8%	24	14.2%	0.05
ややそう思う	10	30.3%	23	29.1%	6	10.5%	39	23.1%	
あまりそう思わない	11	33.3%	25	31.6%	26	45.6%	62	36.7%	
全くそう思わない	6	18.2%	18	22.8%	20	35.1%	44	26.0%	
17) 性感染症に感染したことが周りの友達に知られたら、嫌な印象を持たれると思う									
とてもそう思う	12	36.4%	24	30.4%	9	15.8%	45	26.6%	0.17
ややそう思う	12	36.4%	38	48.1%	25	43.9%	75	44.4%	
あまりそう思わない	7	21.2%	12	15.2%	17	29.8%	36	21.3%	
全くそう思わない	2	6.1%	5	6.3%	6	10.5%	13	7.7%	
18) HIVに感染しているかどうかは、ぎりぎりまであいまいなままにしておきたい									
とてもそう思う	3	9.1%	13	16.5%	5	8.8%	21	12.4%	0.15
ややそう思う	12	36.4%	15	19.0%	14	24.6%	41	24.3%	
あまりそう思わない	6	18.2%	28	35.4%	14	24.6%	48	28.4%	
全くそう思わない	12	36.4%	23	29.1%	24	42.1%	59	34.9%	
19) 性感染症の検査を受けることで、多くの人と「ナマ」でやりまくっていると、周りの友達から思われる									
とてもそう思う	8	24.2%	7	8.9%	3	5.3%	18	10.7%	<b>0.02</b>
ややそう思う	12	36.4%	28	35.4%	13	22.8%	53	31.4%	
あまりそう思わない	9	27.3%	27	34.2%	20	35.1%	56	33.1%	
全くそう思わない	4	12.1%	17	21.5%	21	36.8%	42	24.9%	
20) HIVを持っている人はセックスする前に、そのことを相手に話すべきだと思う									
とてもそう思う	23	69.7%	48	60.8%	24	42.1%	95	56.2%	<b>0.01</b>
ややそう思う	9	27.3%	23	29.1%	15	26.3%	47	27.8%	
あまりそう思わない	1	3.0%	4	5.1%	10	17.5%	15	8.9%	
全くそう思わない	0	0.0%	4	5.1%	8	14.0%	12	7.1%	

## 参考資料 dista 利用者におけるイベントカテゴリー別自由記述

### -コミュニティセンター全体を活用したイベントやカフェの日の利用者-

- 寛げる、いい空間（スペース）だと思う。スタッフ全員、凄く感じいい。概ね真面目な若者だ。（未館者は）概ね、というのはたまに無礼な人がいるから。（ここからはどうでもよい。ただの感想）なんか、生活感のない（リアリティー現実感のない）若者たちが殆ど。本当に働いていて、自分の脚で立っているのだろうか？って感じ。見たところ、恵まれた、屈折のない青年たち。魅力が感じられない。男は苦勞して、挫折して、転んで、また立ち上ってこそ魅力・滋味が醸し出される。
  - これからも多彩なイベントを企画して下さい！！
  - 土日の日中イベントも多く行ってほしいです
  - 名古屋にもこのようなコミュニティセンターがあったと思います。あまり友だちもできない人や、自分のマイノリティで悩んでいる人にとっては、とても落ちつくところだと思います。いつもいい感じで居心地いいです。
  - いつもなにかイベントなどされてて来やすいです。
  - いつも素敵な居場所をありがとう
  - 介護保険の制度や諸届けについてセクシャルマイノリティの方がきちんと活用できるような相談窓口になって欲しい。（同業者も集まって協力しあう）
  - このアンケートを回答するのに、この席のキヨリはせますぎではないでしょうか？となりが丸見えは、どうなのでしょう。
  - スタッフの方と個別に話をしたいので、例えばツイッターなどでつながったり、お茶しながら外で話したりしたい。
  - たのしいやつしたいです
  - ちえっくんの即日検査と頻度を上げてほしい。
  - ハングルを復活してほしい
  - 南界堂通信これからも楽しみにしています。茶会、毎回勉強になるテーマで良い時間になりました。
  - もっとトランスジェンダー向きのイベントや行事を増やしてほしい。
  - もっと入りやすい雰囲気が必要。「LGBT と家族」についてやってほしい。レズビアンマザーの小野春さんと呼んでほしい。
  - ゆったりとした音楽系イベントがあってもいいでしょうか？
  - 高校生のイベントがいっぱいほしい
  - 人狼イベントが楽しいです。もっとやって下さい。
  - 人狼会を多くしてほしい。
  - 人狼大好きなのでまた来たいです。
  - 展示会とかは好きです。
  - 大阪にも句会とか Cafe があれば良いですね！
  - 保険セミナーに参加者がいない！どうにかならないんかな？
  - 友達や交流したい。同性同士でそういう話をあまりしないので。
-

## -コミュニティセンターを部分的に活用した講座がある日の利用者-

- いつもあったかい雰囲気、dista であり続けてくれて、ありがとうございます。
  - いつもありがとうございます。もっと大阪内でも幾つもの dista 的なところあればキラキラ系な話題じゃないことも可視化しやすくなるのかな？と思いつつ、こうしたコミュニティセンターが縮小する事態になってしまうことをどうにかできたらいいのになと思います。
  - イベント開催の方法をわかりやすく広報してほしい。
  - いろいろと素敵なイベントを開催して頂いて有り難うございます。ここにくることで、とても気分転換になっています。
  - これからも地域の性的少数者の場であり続けて下さい。来たことが無くても、あるという事実だけでも心の支えにしている人はいてはると思います。(自分もそうでした。)
  - 写真展やマンガの絵とか好きです。
  - 狭くなったけれどおちつく。
  - たくさんのゲイの方がこられる場所なので、もっと認知度が上がってほしい。
  - 楽しいことがあればなんでもいいかもしれない。
  - とりあえず満足。
  - 弾き語りくらいの音楽イベントならできますか!?
  - 人狼会楽しみ～。
  - 毎月の漫研を楽しみにしています。新しい人にも出会える場なので dista が長く続きますように!!
  - もう少し広い方が良い。声が大きすぎる人が何人か居るので他人に迷惑だと思ふ。パーティションとで部屋を分けて、イベントと分ける。
  - もっといろいろなイベントがあったらいいなあと思います。
  - 漫研れいんぼー、Love English、いつも楽しくサークルに参加しています。人の輪も広がるので、大切な場です。これからも、長く続きますように!!
-



## -平常時の利用者-

- dista 内でのイベントにとらわれず、外部でのイベントに積極的に参加できれば、と思う。
  - HP に色々情報が見られると良いな。
  - いつも居場所をありがとうございます！！
  - いろんなバックグラウンドの人が来場していて、とてもいいなと思います。
  - イラスト系イベント好きです。
  - イラスト系のイベントは好きです。
  - お見合いカフェみたいなイベントがあれば（まじめな）
  - カベ、白くぬりましょう。釘の穴が目立ちます。
  - 気軽にくつろげる場所、情報が手軽に得られること。
  - 気軽に相談したい人やけど、遠くてなかなか...いけない。
  - ゲイリブの講演会を希望します。
  - こういうスペースは、MSM と MSM にかかわるコミュニティにとって必要だと思います。どうか継続して運営されることを願っています。
  - これからもこの場所（居場所）をつづけて下さい。いつも有り難うございます。
  - サークルメンバー募集板、作るのでしょうか。
  - 少し入りにくい雰囲気があって緊張してしまいましたが、入ってみたら緊張もほぐれました。
  - スタッフの方達は感じがよく、いいですよ。中年のハンサムなゲイの方たちが来て、いろいろとお話したいですね。
  - ディスタのイベントは楽しいので続けて欲しいです。血液検査、気軽に来られるので実施日増やして欲しいです。
  - 展覧会とかもっとやってほしい。
  - 逃げこみ寺のような安心できる場所です。お世話になっています。
  - パンカシャもっとやりたいです。
  - また研修会や勉強会等、開催してください。よろしく願いいたします。
  - みんなで若年も中年も来られるイベントをしてほしい
  - もっともっと dista やイベントが多くなればいいな。LGBT に対しての差別をなくしてほしい。
  - 空いている日を使わせて下さい。
  - 勝手なイメージなのですが、10 代や 20 代の子や、あまりこの世界を知らない子が来るとこなのかなと敷居が高く思ってしまう...。
  - 色々イベントがあればいいですね。
  - 性的指向に限らず、あらゆる趣味、特技、興味が混ざりあった空間であって欲しい。
  - 良いイベントをやっていると思うので PR 頑張ってください。
  - 外国人であっても自然にここを使えるのが、助かりました。ありがとうございます。
  - 交流会をしてほしい。
-



## 2. 検査会利用者の属性に関する調査結果

研究代表者：塩野徳史（名古屋市立大学看護学部/MASH 大阪）

研究協力者：後藤大輔、町登志雄、宮田りりい（公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪）

大畑泰次郎、伴仲昭彦（MASH 大阪）

鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部/MASH 大阪）

松本健二（大阪市保健所感染症対策監）

半羽宏之（大阪市健康局医務監兼保健所感染症対策課長）

安井典子、真木景子、松村直樹（大阪市保健所感染症対策課）

岡本香子（保健衛生検査所）

### 研究要旨

#### 目的：

日本の HIV 感染は MSM を中心に限局的に拡大しており、特にゲイ向け商業施設利用者が感染リスクの高い集団であると指摘されている。また梅毒の感染増加も報告されている。本研究ではゲイコミュニティにおけるコホートを構築し、HIV 感染や梅毒感染の動向を明らかにすることで、今後の感染対策の方針や予防啓発の評価尺度とすることを目的とした。

#### 方法：

本年度は検査会を 5 回実施した。対象者の特定には指紋認証システムによって、住所や氏名などの個人情報取得せずコホート集団を構築した。属性の把握には質問紙調査を実施した。初年度は検査会利用者の属性を明らかにし、本検査会の効果について検討する。

#### 結果：

累計で受検者数 171 人、指紋登録者割合 67.6%、結果受取割合 97.1%、HIV 陽性判明 1.2%、梅毒陽性・要治療判明 5.3%であった。属性はゲイ 76.5%、大阪府在住 74.1%、平均年齢  $35.0 \pm 10.1$  歳（最少年齢 18 歳、最高年齢 60 歳）、dista 初来場者 39.4%、過去 6 ヶ月間のゲイ向け商業施設利用割合は 74.7%、初受検者割合は 26.5%であった。

#### 考察：

昨年度に引き続き、検査会利用者とコミュニティセンターdista 利用者の属性は類似しており、ゲイ向け商業施設利用者割合はやや高かった。本検査会は検査ニーズの高いハイリスク層が対象となったと考えられる。しかし受検者数およびコホート登録者数は当初の目標より少なく広報などの方法を工夫する必要がある。

# ゲイコミュニティにおけるコホートの構築の概要（2016年12月時点）

**H27年度** 4月-6月 コホート体制と検査体制・リクルート方法・質問項目の検討

対象：近畿地域在住のMSM(Men who have sex with men)

2年間で登録者162人となり、そのうち第1期コホートの再受検者は18人（継続率19.6%）であった。



## A. 研究目的

大阪地域の MSM における感染動向は厚生労働省エイズ動向委員会の報告によれば、大阪を含む近畿地域の 2014 年新規 HIV 感染者数は、男性同性間性的接触によるものが 147 人で 2013 年 (161 人) に比べやや減少傾向を示している。しかし新規 AIDS 患者数は 49 人であり、2013 年(49 人)と同数である。先行研究で報告されている近畿地域の MSM 割合を用いた罹患率では、HIV 罹患率が 43.1(2012 年)、58.3(2013 年)、53.3(2014 年)であり、AIDS 罹患率は 15.6(2012 年)、17.8(2013 年)、17.8(2014 年)であり減少したとは言えない。

MSM 出生年代別にみた先行研究では AIDS 罹患率の推移は 1950 年代生まれ以外のいずれの年代でも増加傾向であった。近年では 1970 年代生まれや 1980 年代生まれでは感染拡大傾向は抑制されつつあるものの、出生年代層が若い群の方がより高く相対的に MSM 集団における感染拡大が示唆されている。特にゲイ向け商業施設利用者は性行動が活発であり、感染リスクの高い集団である。また MSM において梅毒は感染が増加していることも報告されており、MSM 対象の検査会での梅毒有病率は HIV 感染よりも高い。

**付表1 先行研究による MSMを対象とした検査会結果**

検査会名(地域)	年	N	HIV	梅毒
SWITCH (大阪)	2000	247	1.3%	14.7%
	-2002	-397	-3.3%	-19.6%
MaQ PLuS+ FINAL(大阪)	2010	147	4.1%	-
NLGR+ 検査会(愛知)	2001	148	1.2%	-
	2013	-538	-4.7%	-
かながわレイホーセンター-SHIP (神奈川)	2008	85	2.4%	7.3%
	-2011	-115	-3.6%	-12.9%
distaでちえつくん (大阪)	2015 1月	60	1.7%	3.3% (SST)

MSM における HIV 感染や梅毒感染の状況を把握することは、今後の感染対策の方針の決定や予防啓発の評価尺度として極めて有効である。初年度は大阪のゲイ向け商業施設を中心としたゲイコミュニティにおいて、血液検査と連動

させた前向きコホートを構築することを目的とした。本報告では検査会利用者の属性について明らかにすることを通して、コミュニティセンターでの検査会の効果について検討する。

## B. 研究方法

### 1) コホートの構築方法

本研究では対象者の個人特定には生体認証の技術(スワイプ式指紋認証システム)を応用したシステムによって、住所や氏名などの個人情報取得することなくコホート集団を構築することとした。

認証された指紋情報は、ソフトウェア(OmniPass)を活用し、暗号化した上で ID を発行する仕組みとした。対象者には口頭で説明し、同意を得た上で指紋情報を登録してもらい、内蔵されたソフトウェアによって暗号化し、指紋情報と一致させた個別の ID を番号シールとして発行した。

情報の保守性を考慮し、本研究で活用する機器端末は、インターネット接続されない仕組みとした。

### 2) 質問紙調査の実施

血液検査会終了後の止血確認時に質問紙調査を実施した。質問紙は、事前チェックシートや結果お知らせの案内資料とともにファイルスリーに同封して手渡し、本研究の趣旨を事前に研修を受けた NGO スタッフが書面をもとに口頭で説明し、協力同意の得られた人を対象に回答を依頼した。回答後には、回答者自身がシールで封緘を行い、回答内容をスタッフがみることなく設置された回収箱に投函する仕組みとした。

質問項目は、先行研究をもとに作成し基本属性(性別、居住地、居住携帯、職業、セクシュアリティ)、過去 6 ヶ月間の利用施設など、検査行動、一番最近の性行動、性感染症既往歴、dista の利用経験、本検査会の満足度の 14 問とした。質問項目の作成にあたっては、当事者

参加型の MASH 大阪オープンミーティングで検討の機会をもち、修正を行った。

1 回目 8 月には 25 人が受検し 25 人の回答を得た(回収率 100%)。2 回目 9 月には 27 人が受検し 27 人の回答を得た(回収率 100%)。3 回目 10 月には 23 人が受検し 23 人の回答を得た(回収率 100%)。4 回目 1 月には 52 人が受検し 50 人の回答を得た(回収率 96.2%)。今年度は 1 回目 1 月には 47 人が受検し 47 人の回答を得た(回収率 100%)。2 回目 8 月には 19 人が受検し 18 人の回答を得た(回収率 94.7%)。3 回目 9 月には 26 人が受検し 26 人の回答を得た(回収率 100%)。4 回目 10 月には 36 人が受検し 36 人の回答を得た(回収率 100%)。5 回目 1 月には 43 人が受検し 43 人の回答を得た(回収率 100%)。

### 3) 分析方法

得られた 295 人の回答(回収率 99.0%)について、各回の受検者の属性について単純集計を行った。年齢はコミュニティセンター利用者と同様に、24 歳以下、25 歳-34 歳、35 歳以上の 3 区分の年齢層に分類した。質問項目は、年齢層、性別、居住形態、職業、セクシュアリティなどの基本属性と、過去 6 ヶ月間の商業施設などの利用状況、性感染症既往歴、性行動、検査行動、コミュニティセンターdistaの利用状況、本検査会における満足度とした。

また、検査会ごとにこれほど陽性率が違う理由を検討するために、陽性判明者の報告があった回となかった回で受検者を 2 群し、年齢・居住地・居住形態・就業形態・最終学歴・性的指向・過去 6 ヶ月間の利用施設・一番最近の Analセックス時のコンドーム使用・生涯の HIV 抗体検査受検経験・生涯の性感染症既往(梅毒/HBV/HCV)についてカイ 2 乗検定を用いた単回帰分析を行った。その後、有意差のみられた項目について多変量解析を行った。

データの集計および統計処理には IBM SPSS Statistics 23 を用いた。統計的有意水準は 5% 未満とした。

なお、本調査は名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得ている。(ID 番号 15014-2 2015 年 6 月 23 日)

## C. 研究結果

2015 年度 4 回の検査会の累計は、受検者数 127 人、指紋登録者割合 78.6%、結果受取割合 96.1%、HIV 陽性判明者数 7 人(5.5%)、梅毒陽性・要治療判明者数 6 人(4.7%)であった。

2016 年度 5 回の検査会の累計は、受検者数 171 人、指紋登録者割合 67.6%、結果受取割合 97.1%、HIV 陽性判明者数 2 人(1.2%)、梅毒陽性・要治療判明者数 9 人(5.3%)であった。

結果受取は設定した翌週に取りに来られない場合には大阪市保健所などで別日に対応した。なお、本検査会における HIV 陽性判明者は新たに感染がわかった人であり、全て検査結果を受け取りに来られた。

検査会利用者を対象とした質問紙調査の分析結果を表 1~表 5 に示した。

本年度の検査会利用者の平均年は年齢無回答を除き、1 回目(7 月)が 36.0±11.0 歳(最少年齢 19 歳、最高年齢 60 歳)、2 回目(8 月)が 34.9±9.6 歳(最少年齢 21 歳、最高年齢 53 歳)、3 回目(10 月)が 35.1±11.1 歳(最少年齢 18 歳、最高年齢 55 歳)、4 回目(11 月)が 35.0±10.6 歳(最少年齢 21 歳、最高年齢 56 歳)、5 回目(1 月)が 34.0±8.4 歳(最少年齢 18 歳、最高年齢 53 歳)であった。累計で平均年齢は 35.0±10.1 歳(最少年齢 18 歳、最高年齢 60 歳)であった。年齢層別にみると 24 歳以下の割合は、1 回目(7 月)14.9%、2 回目(8 月)11.1%、3 回目(10 月)15.4%、4 回目(11 月)16.7%、5 回目(1 月)9.3%であった。

居住地は、いずれの回でも大阪府が最も多く 1 回目(7 月)66.0%、2 回目(8 月)88.9%、3 回目(10 月)69.2%、4 回目(11 月)75.0%、5 回目(1 月)79.1%であった。累計では大阪府が 74.1%であり最も高かった。次いで兵庫県 15.9%、京都府 4.1%、和歌山県 1.2%であった。

性的指向は、いずれの回でもゲイと回答する割合が最も高く、1回目(7月)80.9%、2回目(8月)50.0%、3回目(10月)80.8%、4回目(11月)75.0%、5回目(1月)81.4%であった。累計では76.5%であり、次いでバイセクシュアルが17.6%であった。

居住形態について1人暮らしの割合は1回目(7月)51.1%、2回目(8月)33.3%、3回目(10月)46.2%、4回目(11月)38.9%、5回目(1月)53.5%であり、ばらつきがみられた。一方で、親や兄弟姉妹との同居割合は1回目(7月)31.9%、2回目(8月)38.9%、3回目(10月)50.0%、4回目(11月)44.4%、5回目(1月)41.9%であった。

職業について常勤(正規雇用)の割合は1回目(7月)51.1%、2回目(8月)55.6%、3回目(10月)42.3%、4回目(11月)58.3%、5回目(1月)62.8%であった。

過去6ヶ月間の利用施設におけるゲイ向け商業施設としてはゲイパー利用が累計で52.9%、1回目(7月)44.7%、2回目(8月)50.0%、3回目(10月)80.8%、4回目(11月)41.7%、5回目(1月)55.8%であった。ゲイナイト利用は累計で27.6%、1回目(7月)19.1%、2回目(8月)22.2%、3回目(10月)38.5%、4回目(11月)22.2%、5回目(1月)37.2%であった。ゲイショップ利用は累計で20.6%、1回目(7月)21.3%、2回目(8月)16.7%、3回目(10月)15.4%、4回目(11月)16.7%、5回目(1月)27.9%であった。有料のハッテン場利用は累計で45.3%、1回目(7月)34.0%、2回目(8月)38.9%、3回目(10月)34.6%、4回目(11月)52.8%、5回目(1月)60.5%であった。4つの施設のうちいずれか利用した割合は累計で74.7%、1回目(7月)66.0%、2回目(8月)61.1%、3回目(10月)88.5%、4回目(11月)72.2%、5回目(1月)83.7%であった。

コミュニティセンターdistaの初利用者割合は累計で42.4%、1回目(7月)36.2%、2回目

(8月)27.8%、3回目(10月)23.1%、4回目(11月)55.6%、5回目(1月)44.2%であった。累計では39.4%であった。

HIV抗体検査の受検経験について初受検(生涯に未受検また無回答)割合は累計で26.5%、1回目(7月)29.8%、2回目(8月)16.7%、3回目(10月)19.2%、4回目(11月)33.3%、5回目(1月)25.6%であった。

本検査会における満足度について次の4項目で尋ねた。「話し方・言葉づかい」についてとても満足であった割合は累計で85.9%、1回目(7月)82.6%、2回目(8月)100%、3回目(10月)84.6%、4回目(11月)86.1%、5回目(1月)88.1%であった。「質問しやすい雰囲気」についてとても満足であった割合は累計で83.5%、1回目(7月)84.8%、2回目(8月)94.4%、3回目(10月)73.1%、4回目(11月)86.1%、5回目(1月)85.7%であった。「安心できる雰囲気」についてとても満足であった割合は累計で77.1%、1回目(7月)84.8%、2回目(8月)94.4%、3回目(10月)61.5%、4回目(11月)66.7%、5回目(1月)83.3%であった。「プライバシー 保護」についてとても満足であった割合は累計で65.3%、1回目(7月)71.1%、2回目(8月)77.8%、3回目(10月)57.7%、4回目(11月)63.9%、5回目(1月)64.3%であった。

付表2 二項ロジスティック回帰分析の結果

	Odds比	95%信頼区間		調整Odds比	95%信頼区間	
		下限	上限		下限	上限
年齢層						
24歳以下	1.00			1.00		
25-34歳	0.61	0.30	1.27	0.59	0.28	1.23
35-44歳	<b>0.27</b>	<b>0.11</b>	<b>0.66</b>	<b>0.27</b>	<b>0.11</b>	<b>0.68</b>
45歳以上	0.89	0.39	2.04	0.89	0.39	2.07
過去6ヶ月間の携帯出会い系サイト利用						
なし	1.00			1.00		
あり	<b>1.95</b>	<b>1.02</b>	<b>3.74</b>	1.88	0.96	3.70
過去6ヶ月間の有料ハッテン場利用						
なし	1.00			1.00		
あり	<b>1.84</b>	<b>1.09</b>	<b>3.11</b>	<b>1.74</b>	<b>1.01</b>	<b>3.00</b>

変数減少法ステップワイズ(Wald)を用いた二項ロジスティック回帰分析

HIV陽性者判明があった回:1、なかった回:0とした

HosmerとLemeshowの検定 p=0.826

Nagelkerke R2乗 0.106、全体のパーセント 65.2%

2016年11月まで(n=252)結果で分析した結果、HIV陽性報告の有無で有意差のみられた項目は年齢、過去6ヶ月間の携帯出会い系サイト利用、過去6ヶ月間の有料ハッテン場利用であった。調整後Oddsは、過去6ヶ月間の有料ハッテン場利用が非利用に比べ1.74(95%信頼区間:1.01-3.00)、35-44歳層が24歳以下に比べ0.27(95%信頼区間:0.11-0.68)であった。

#### D. 考察

検査会利用者とコミュニティセンターdista利用者の居住地や居住形態、年齢、性的指向、職業、受検行動は類似していた。一方でゲイ向け商業施設利用者割合はやや高く、特に有料ハッテン場の利用割合は45.3%(コミュニティセンター利用者33.2%、以下同)と高かった。この傾向は昨年度と同様の傾向であり、特に11月の検査会利用者における有料ハッテン場利用割合は52.8%と高かった。

新規に判明したHIV陽性割合は保健所での受検者に比べ高い割合であり、コミュニティセンターを活用した検査会が有効であったと考えられる。検査会におけるHIV陽性報告の有無に有料ハッテン場利用が関連していたことは、商業施設利用者の中に感染リスクの高い層が存在することを示しており、先行研究と一致する。検査はより感染リスクの高い層のニーズを満たせる体制とすることが重要であり、MSM向けであれば、有料ハッテン場やその他の商業施設利用割合は検査会の質を評価する上で指標の一つとなることが示唆された。本検査会「distaでピタッとちえっくん」は、検査自体をオープンスペースで実施し、HIV感染のカミングアウトの状況やHIV感染に対するスティグマを考慮し、検査結果は個人情報として扱うことが既存の検査機会と異なる点であったが、受検者の満足度は昨年度に引き続き、先行研究の保健所受検者満足度と比べても高い割合で

あり、コミュニティセンターでの検査会での実施可能性を示したと言える。

研究計画では本検査会で300人のコホート登録を目指したが、初年度の登録者は92人で、2年度目の登録者は96人であった。自由記述の結果では本検査会に対し「利便性が良い」「安心できる」などの記述のほか、指紋認証の導入によって「定期的な受検につながる」「受検履歴がわかってよい」などの記述がみられ、検査の敷居が高まった可能性は少ないと考えられる。指紋の登録時にコミュニティセンターdistaだから了承すると語る受検者も多く、MASH大阪とコミュニティとの信頼関係が構築されていることが重要な要素となっている。コミュニティセンターdistaの利用者調査では本検査会の認知は6月が51.9%で、12月が59.2%と増加しており、とりわけ受検者が18人(11.5%、6月)から27人(16.0%、12月)と徐々に増加している。これらの結果から、本検査会はMASH大阪が構築してきたコミュニティとの関係性を基盤としたものとなっていることが考えられる。

#### E. 結論

本検査会利用者の属性はコミュニティセンターdista利用者と類似しており、ゲイ向け商業施設利用者割合は高かった。本検査会は検査ニーズの高いハイリスク層が対象となったと考えられる。

しかし受検者数およびコホート登録者数は当初の目標より少なく広報方法を工夫する必要がある。コホート登録者については、初年度2年度でも対象者数が少なく、プライバシー保護の観点から解析は行わなかった。次年度は、第3期コホートとして検査会の回数を増やし、登録者数の確保を目指す。同時にコホート登録者に向けても再受検を促し、血液検査と連動させたフォローアップによって、新規判明率を推計する。



表 1 検査会利用者における属性

		8月 n=25	9月 n=27	10月 n=23	1月 n=50	2015年度計 n=125	7月 n=47	8月 n=18	10月 n=26	11月 n=36	1月 n=43	2016年度計 n=170	
居住地													
	大阪市						19 40.4%	8 44.4%	12 46.2%			23 53.5%	<b>62 36.5%</b>
	堺市						0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
	高槻市						0 0.0%	1 5.6%	1 3.8%			1 2.3%	<b>3 1.8%</b>
	東大阪市						1 2.1%	1 5.6%	0 0.0%			0 0.0%	<b>2 1.2%</b>
	豊中市						2 4.3%	2 11.1%	0 0.0%			4 9.3%	<b>8 4.7%</b>
	枚方市						1 2.1%	0 0.0%	1 3.8%			0 0.0%	<b>2 1.2%</b>
	上記を除く大阪府内						8 17.0%	4 22.2%	5 19.2%			6 14.0%	<b>23 13.5%</b>
	その他						16 34.0%	2 11.1%	7 26.9%			9 20.9%	<b>34 20.0%</b>
居住地													
	大阪府	20 80.0%	19 70.4%	14 60.9%	36 72.0%	<b>89 71.2%</b>	31 66.0%	16 88.9%	18 69.2%	27 75.0%	34 79.1%	<b>126 74.1%</b>	
	兵庫県	2 8.0%	5 18.5%	6 26.1%	8 16.0%	<b>21 16.8%</b>	10 21.3%	2 11.1%	5 19.2%	5 13.9%	5 11.6%	<b>27 15.9%</b>	
	京都府	3 12.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	<b>4 3.2%</b>	2 4.3%	0 0.0%	2 7.7%	1 2.8%	2 4.7%	<b>7 4.1%</b>	
	奈良県	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	1 2.0%	<b>2 1.6%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	<b>1 0.6%</b>	
	滋賀県	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	2 4.0%	<b>3 2.4%</b>					1 2.3%	<b>1 0.6%</b>	
	和歌山県	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	<b>1 0.8%</b>	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 2.8%	0 0.0%	<b>2 1.2%</b>	
	その他	0 0.0%	1 3.7%	2 8.7%	2 4.0%	<b>5 4.0%</b>	4 8.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.3%	<b>6 3.5%</b>	
年齢層													
	24歳以下	3 12.0%	9 33.3%	5 21.7%	7 14.0%	<b>24 19.2%</b>	7 14.9%	2 11.1%	4 15.4%	6 16.7%	4 9.3%	<b>23 13.5%</b>	
	25-34歳	10 40.0%	11 40.7%	9 39.1%	20 40.0%	<b>50 40.0%</b>	16 34.0%	6 33.3%	8 30.8%	14 38.9%	19 44.2%	<b>63 37.1%</b>	
	35歳以上	12 48.0%	7 25.9%	9 39.1%	20 40.0%	<b>48 38.4%</b>	20 42.6%	7 38.9%	10 38.5%	13 36.1%	15 34.9%	<b>65 38.2%</b>	
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.0%	<b>3 2.4%</b>	4 8.5%	3 16.7%	4 15.4%	3 8.3%	5 11.6%	<b>19 11.2%</b>	
あなたは以下のどれにあてはまりますか?													
	ゲイ	19 76.0%	23 85.2%	19 82.6%	34 68.0%	<b>95 76.0%</b>	38 80.9%	9 50.0%	21 80.8%	27 75.0%	35 81.4%	<b>130 76.5%</b>	
	バイセクシュアル	5 20.0%	2 7.4%	3 13.0%	13 26.0%	<b>23 18.4%</b>	7 14.9%	6 33.3%	4 15.4%	7 19.4%	6 14.0%	<b>30 17.6%</b>	
	ヘテロセクシュアル	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	<b>1 0.8%</b>					1 2.3%	<b>1 0.6%</b>	
	わからない	1 4.0%	1 3.7%	1 4.3%	0 0.0%	<b>3 2.4%</b>	2 4.3%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>4 2.4%</b>	
	決めたくない	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.8%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	<b>1 0.6%</b>	
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	<b>1 0.8%</b>	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	<b>2 1.2%</b>	
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	<b>1 0.8%</b>	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 2.8%	0 0.0%	<b>2 1.2%</b>	

表2 検査会利用者における属性

	8月 n=25	9月 n=27	10月 n=23	1月 n=50	2015年度計 n=125	7月 n=47	8月 n=18	10月 n=26	11月 n=36	1月 n=43	2016年度計 n=170
就業形態											
常勤(正規雇用)	13 52.0%	16 59.3%	12 52.2%	27 54.0%	<b>68 54.4%</b>	24 51.1%	10 55.6%	11 42.3%	21 58.3%	27 62.8%	<b>93 54.7%</b>
その他*	9 36.0%	8 29.6%	6 26.1%	18 36.0%	<b>41 32.8%</b>	17 36.2%	6 33.3%	12 46.2%	12 33.3%	11 25.6%	<b>58 34.1%</b>
学生	3 12.0%	3 11.1%	5 21.7%	5 10.0%	<b>16 12.8%</b>	6 12.8%	2 11.1%	3 11.5%	3 8.3%	5 11.6%	<b>19 11.2%</b>
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか?											
一人暮らし	15 60.0%	17 63.0%	6 26.1%	19 38.0%	<b>57 45.6%</b>	24 51.1%	6 33.3%	12 46.2%	14 38.9%	23 53.5%	<b>79 46.5%</b>
親や兄弟・姉妹と同居	8 32.0%	6 22.2%	13 56.5%	22 44.0%	<b>49 39.2%</b>	15 31.9%	7 38.9%	13 50.0%	16 44.4%	18 41.9%	<b>69 40.6%</b>
同性のパートナーと同居	1 4.0%	3 11.1%	0 0.0%	3 6.0%	<b>7 5.6%</b>	2 4.3%	1 5.6%	0 0.0%	3 8.3%	1 2.3%	<b>7 4.1%</b>
同性の友達と同居	1 4.0%	1 3.7%	2 8.7%	1 2.0%	<b>5 4.0%</b>	3 6.4%	2 11.1%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.3%	<b>7 4.1%</b>
異性のパートナーと同居	0 0.0%	1 3.7%	1 4.3%	4 8.0%	<b>6 4.8%</b>	2 4.3%	2 11.1%	1 3.8%	1 2.8%	1 2.3%	<b>7 4.1%</b>
異性の友達と同居	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	<b>1 0.8%</b>	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.6%</b>
その他	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	2 4.0%	<b>4 3.2%</b>	0 0.0%	1 5.6%	1 3.8%	1 2.8%	0 0.0%	<b>3 1.8%</b>

\*常勤(非正規雇用)/パート/アルバイト/経営者/その他を含む

表3 検査会利用者における dista 利用経験及び検査行動

	8月 n=25	9月 n=27	10月 n=23	1月 n=50	2015年度計 n=125	7月 n=47	8月 n=18	10月 n=26	11月 n=36	1月 n=43	2016年度計 n=170
過去6ヵ月間に、以下の施設やサービスを利用しましたか？											
(再掲)商業施設利用	20 80.0%	25 92.6%	22 95.7%	37 74.0%	<b>104 83.2%</b>	31 66.0%	11 61.1%	23 88.5%	26 72.2%	36 83.7%	<b>127 74.7%</b>
ゲイバー	16 64.0%	18 66.7%	17 73.9%	30 60.0%	<b>81 64.8%</b>	21 44.7%	9 50.0%	21 80.8%	15 41.7%	24 55.8%	<b>90 52.9%</b>
ゲイナイト	8 32.0%	9 33.3%	6 26.1%	7 14.0%	<b>30 24.0%</b>	9 19.1%	4 22.2%	10 38.5%	8 22.2%	16 37.2%	<b>47 27.6%</b>
ゲイショップ	6 24.0%	9 33.3%	8 34.8%	8 16.0%	<b>31 24.8%</b>	10 21.3%	3 16.7%	4 15.4%	6 16.7%	12 27.9%	<b>35 20.6%</b>
ゲイ向けサークル	1 4.0%	5 18.5%	1 4.3%	3 6.0%	<b>10 8.0%</b>	5 10.6%	1 5.6%	6 23.1%	3 8.3%	8 18.6%	<b>23 13.5%</b>
ゲイ向け合コン	1 4.0%	1 3.7%	1 4.3%	1 2.0%	<b>4 3.2%</b>	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	<b>2 1.2%</b>
mixiなどのSNS	10 40.0%	6 22.2%	8 34.8%	13 26.0%	<b>37 29.6%</b>	19 40.4%	8 44.4%	13 50.0%	3 8.3%	18 41.9%	<b>61 35.9%</b>
PC出会い系サイト	4 16.0%	1 3.7%	4 17.4%	4 8.0%	<b>13 10.4%</b>	9 19.1%	3 16.7%	2 7.7%	7 19.4%	7 16.3%	<b>28 16.5%</b>
携帯出会い系サイト	8 32.0%	10 37.0%	6 26.1%	7 14.0%	<b>31 24.8%</b>	3 6.4%	3 16.7%	5 19.2%	7 19.4%	7 16.3%	<b>25 14.7%</b>
エロ系SNS	2 8.0%	2 7.4%	4 17.4%	2 4.0%	<b>10 8.0%</b>	3 6.4%	3 16.7%	1 3.8%	4 11.1%	3 7.0%	<b>14 8.2%</b>
ゲイ向けアプリ	21 84.0%	22 81.5%	16 69.6%	33 66.0%	<b>92 73.6%</b>	30 63.8%	11 61.1%	19 73.1%	23 63.9%	33 76.7%	<b>116 68.2%</b>
ゲイの乱パ	1 4.0%	1 3.7%	1 4.3%	0 0.0%	<b>3 2.4%</b>	1 2.1%	0 0.0%	2 7.7%	2 5.6%	3 7.0%	<b>8 4.7%</b>
有料のハッテン場	10 40.0%	15 55.6%	17 73.9%	24 48.0%	<b>66 52.8%</b>	16 34.0%	7 38.9%	9 34.6%	19 52.8%	26 60.5%	<b>77 45.3%</b>
野外のハッテン場	4 16.0%	4 14.8%	1 4.3%	4 8.0%	<b>13 10.4%</b>	3 6.4%	0 0.0%	2 7.7%	6 16.7%	8 18.6%	<b>19 11.2%</b>
ハッテン場で有名な公共施設	8 32.0%	6 22.2%	6 26.1%	10 20.0%	<b>30 24.0%</b>	9 19.1%	6 33.3%	8 30.8%	9 25.0%	14 32.6%	<b>46 27.1%</b>
いずれもなし	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	1 2.0%	<b>2 1.6%</b>	3 6.4%	2 11.1%	0 0.0%	1 2.8%	3 7.0%	<b>9 5.3%</b>
今日を除いて、これまでにdista(ディスタ)を訪れたことがありますか？											
過去6ヵ月以内に訪れた	7 28.0%	11 40.7%	8 34.8%	17 34.0%	<b>43 34.4%</b>	17 36.2%	8 44.4%	14 53.8%	9 25.0%	14 32.6%	<b>62 36.5%</b>
過去6ヵ月より以前に訪れた	9 36.0%	4 14.8%	5 21.7%	11 22.0%	<b>29 23.2%</b>	12 25.5%	5 27.8%	5 19.2%	6 16.7%	8 18.6%	<b>36 21.2%</b>
はじめて訪れた	9 36.0%	12 44.4%	10 43.5%	22 44.0%	<b>53 42.4%</b>	17 36.2%	5 27.8%	6 23.1%	20 55.6%	19 44.2%	<b>67 39.4%</b>
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	1 2.1%	0 0.0%	1 3.8%	1 2.8%	2 4.7%	<b>5 2.9%</b>
「distaでピタッとちえっくん」について伺います。今後も利用したいと思いますか？理由もあわせてお答えください。											
また利用したい						40 85.1%	17 94.4%	24 92.3%		38 88.4%	<b>119 70.0%</b>
もう利用したくない						1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	<b>1 0.6%</b>
無回答						6 12.8%	1 5.6%	2 7.7%		5 11.6%	<b>14 8.2%</b>

表4 検査会利用者における検査行動および性感染症既往

	8月 n=25	9月 n=27	10月 n=23	1月 n=50	2015年度計 n=125		7月 n=47	8月 n=18	10月 n=26	11月 n=36	1月 n=43	2016年度計 n=170	
これまでHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?													
ない・無回答	6	10	7	13	36	28.8%	14	3	5	12	11	45	26.5%
ある	19	17	16	37	89	71.2%	33	15	21	24	32	125	73.5%
これまで何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?													
ない・無回答	6	10	7	13	36	28.8%	14	3	5	13	11	46	27.1%
1回・2回	8	8	10	18	44	35.2%	10	8	13	8	8	47	27.6%
3回以上ある	11	9	6	19	45	36.0%	23	7	8	15	24	77	45.3%
これまでにかかったことがある性感染症はありますか?													
梅毒	1	3	1	2	7	5.6%	6	0	3	5	2	16	9.4%
A型肝炎	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	1	1	2	1.2%
B型肝炎	1	3	1	2	7	5.6%	6	0	2	2	1	11	6.5%
C型肝炎	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	1	0	0	1	0.6%
クラミジア	0	3	1	5	9	7.2%	2	0	0	3	6	11	6.5%
尖圭コンジローマ	0	1	3	1	5	4.0%	2	1	2	0	3	8	4.7%
淋病	1	1	0	4	6	4.8%	3	2	1	3	1	10	5.9%
HIV感染症	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0.0%
赤痢アメーバ	1	0	0	0	1	0.8%	2	0	0	2	0	4	2.4%
毛じらみ	4	8	5	12	29	23.2%	14	3	9	10	7	43	25.3%
性器ヘルペス	0	1	0	0	1	0.8%	1	0	0	1	0	2	1.2%
その他	1	0	1	1	3	2.4%	0	0	0	0	0	0	0.0%
いずれもない	13	13	11	24	61	48.8%	22	13	10	19	24	88	51.8%
これまでにかかったことがある性感染症はありますか?(再掲)													
いずれかあり	7	13	10	20	50	40.0%	22	5	14	16	14	71	41.8%
いずれもない	18	14	13	30	75	60.0%	25	13	12	20	29	99	58.2%

表5 検査会利用者における利用経験と満足度

	8月 n=25	9月 n=27	10月 n=23	1月 n=50	2015年度計 n=125	7月 n=47	8月 n=18	10月 n=26	11月 n=36	1月 n=43	2016年度計 n=170
コホート参加状況											
不参加・依頼なし	1 4.0%	4 14.8%	4 17.4%	14 28.0%	<b>23 18.4%</b>	14 29.8%	5 27.8%	5 19.2%	11 30.6%	10 23.3%	<b>45 26.5%</b>
参加(初回)	24 96.0%	22 81.5%	18 78.3%	28 56.0%	<b>92 73.6%</b>	26 55.3%	9 50.0%	16 61.5%	21 58.3%	24 55.8%	<b>96 56.5%</b>
参加(2回目)	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	7 14.0%	<b>8 6.4%</b>	5 10.6%	2 11.1%	2 7.7%	4 11.1%	3 7.0%	<b>16 9.4%</b>
参加(3回目)	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	<b>1 0.8%</b>	2 4.3%	1 5.6%	2 7.7%	0 0.0%	4 9.3%	<b>9 5.3%</b>
参加(4回目)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	<b>1 0.8%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	<b>1 0.6%</b>
参加(5回目)						0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.6%</b>
参加(6回目)						0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.6%</b>
参加(7回目)						0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	<b>1 0.6%</b>
1) 話し方・言葉づかいはどうでしたか?*											
とても満足	21 84.0%	23 85.2%	19 82.6%	32 86.5%	<b>95 84.8%</b>	38 82.6%	18 100%	22 84.6%	31 86.1%	37 88.1%	<b>146 85.9%</b>
やや満足	4 16.0%	4 14.8%	4 17.4%	5 13.5%	<b>17 15.2%</b>	8 17.4%	0 0.0%	3 11.5%	5 13.9%	5 11.9%	<b>21 12.4%</b>
やや不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.6%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
2) 質問しやすい雰囲気についてはどうでしたか?*											
とても満足	19 76.0%	22 81.5%	20 87.0%	31 83.8%	<b>92 82.1%</b>	39 84.8%	17 94.4%	19 73.1%	31 86.1%	36 85.7%	<b>142 83.5%</b>
やや満足	6 24.0%	3 11.1%	3 13.0%	5 13.5%	<b>17 15.2%</b>	6 13.0%	1 5.6%	6 23.1%	4 11.1%	6 14.3%	<b>23 13.5%</b>
やや不満	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	1 2.7%	<b>3 2.7%</b>	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	<b>2 1.2%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.6%</b>
3) 安心できる雰囲気についてはどうでしたか?*											
とても満足	17 68.0%	21 77.8%	17 73.9%	29 78.4%	<b>84 75.0%</b>	39 84.8%	17 94.4%	16 61.5%	24 66.7%	35 83.3%	<b>131 77.1%</b>
やや満足	8 32.0%	4 14.8%	6 26.1%	7 18.9%	<b>25 22.3%</b>	4 8.7%	1 5.6%	8 30.8%	9 25.0%	7 16.7%	<b>29 17.1%</b>
やや不満	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	1 2.7%	<b>3 2.7%</b>	3 6.5%	0 0.0%	1 3.8%	3 8.3%	0 0.0%	<b>7 4.1%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.6%</b>
4) プライバシー 保護についてはどうでしたか?*											
とても満足	13 52.0%	18 66.7%	15 65.2%	25 67.6%	<b>71 63.4%</b>	32 71.1%	14 77.8%	15 57.7%	23 63.9%	27 64.3%	<b>111 65.3%</b>
やや満足	10 40.0%	5 18.5%	7 30.4%	7 18.9%	<b>29 25.9%</b>	8 17.8%	3 16.7%	9 34.6%	10 27.8%	11 26.2%	<b>41 24.1%</b>
やや不満	2 8.0%	4 14.8%	1 4.3%	3 8.1%	<b>10 8.9%</b>	5 11.1%	1 5.6%	1 3.8%	3 8.3%	4 9.5%	<b>14 8.2%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.4%	<b>2 1.8%</b>	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.6%</b>

\*無回答を除いて集計したため累計は異なる

## 検査会利用者を対象とした質問紙調査における自由記述

- Good English interpreter!
- Thank you for having this available
- アクセスが良い
- いきやすいため
- 利便性が良い
- 今まで利用していた機関より待ち時間が少なく近いため
- 時間がちょうどよい
- 自宅より近いから
- 近くて便利
- 家から近くて便利
- 場所・時間が便利
- 近くで無料で利用しやすいため
- 場所が便利
- 場所がわかりやすいから
- 身近な場所にあったから
- わかりやすいので
- 休日に検査を受けることが可能なため
- 土日に検査をしてもらえる機関が貴重だから
- 曜日時間帯が利用しやすい
- 週末に開催な為
- 週末に無料で利用できるから
- 土曜実施で行きやすい
- 無料だから
- 無料で受けられる
- 無料なので
- 無料だから。知っている場所 (dista) だから。
- 無料で検査を受ける機会を提供していただいて助かります  
無料で利用できるありがたいです。今後もよろしくお願ひします。
- 普通無料ではやらない梅毒の検査もやってくれるから
- 簡単だから
- 簡単でわかりやすい
- 気軽だから
- 気軽に来られるから。定期的な実施が嬉しい限りです
- 気軽に利用しやすい
- 気軽に利用できるのだから
- 気軽であること
- 気軽に来れるので助かります。
- 気軽に利用できる為
- 検査しやすい
- 検査に入りやすい
- とても親切な説明で分かりやすかったです
- 親切で丁寧である
- スタッフが優しいです
- 初めて利用しましたがとても皆さんの対応がよくて検査の不安がなくなったので
- 対応がていねいで、これからは感染の有無を確認したいので
- 迷わず来れるし、みなさん優しいから
- 定期的に検査を受けたいから
- 定期的に無料で利用できる為
- 定期的にやっておいて悪くない
- 定期的にやってくれたら、受ける側としても定期的にやろうと思える
- 継続して検査をうけられる
- 便利だからまた検査しようと思います
- また定期的に受けたいと思いました
- ちえっくんは検査のよい機会なので続けていただけるとうれいしいです。
- 今回初めての検査でなかなかこういう機会もないため
- 自分では中々タイミングをつくれなから
- 念のため
- 安全の確認をしたいのです
- もうないとは思いますが、してしまった際お願ひします
- 自分の身体のため
- 検査は利用したいが指紋採取はけっこうです。
- 受診した履歴がわかりやすくなるのはいい
- 自分のデータが簡単に分かるから
- 参考になる
- スムーズな受付、検査履歴がわかる
- 手続きがスムーズ
- 指紋を使うことで名前などの個人情報を公開せずに検査を受けられる安心感。
- 楽しそうだった!!
- 雰囲気よかったから。アットホームな感じだった。
- 信頼性があるから
- 同じ仲間と出会いたい
- 検査の時間をもう少し遅くまでしてもらえると嬉しいです!
- 仮名であれ、記名が苦手
- 匿名でもいいと書いてあったが、入ってすぐに名前を書かされたことに違和感があった。サイトの案内で匿名を大きく書いてあったのであれば、あれはないほうがいいのではないかと思った。



## 研究成果の刊行に関する一覧表

著者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
市川誠一， 塩野徳史， 金子典代， 本間隆之， 岩橋恒太	MSM における HIV 感染 予防とコミュニティセン ターの役割	化学療法の領 域 . :2016	Vol.32(5)	1029- 1038	2016